GT-Map マニュアル

Version1.3.0 (暫定版)

2010/08/19

改定	履	厯
	/1/22.)	

Version	Release Date	概要	担当者
1.0.0	2009年06月29日	初版	奥村
1.01	2009年08月27日	データセット名前変更、データセット削除追加	奥村
	2009年08月27日	p.87『メニューバー:プロジェクトデータを開く』	奥村
		インポートされる場所の修正	
	2009年08月27日	p.91 『メニューバー:レイヤインポート』 インポ	奥村
		ートされる場所の修正	
	2009年08月27日	p.62 『ツールバー : 基本操作 (選択・拡大・縮小・	奥村
		移動)』アンドゥ機能の説明を追加	
	2009年08月27日	目次の更新	奥村
1.1.0	2009年10月21日	p.12 『表 6-1 画面構成の』 のデータビューの内	奥村
		容変更	
	2009年10月21日	p.7 『表 2-2 ライセンスについて』 においてライ	奥村
		センス追加	
	2009年10月21日	GT-Time と画面構成の文言の統一	奥村
1.2.0	2010年3月8日	メインメニュー:機能設定を追加	奥村
	2010年3月8日	言語データ機能	奥村
1.2.1	2010年07月08日	目次更新	奥村
1.2.2	2010年08月03日	『著作権について』を追加	奥村
		『免責事項について』を追加	
		p.6 『推奨動作環境』を修正	

目次

1. はじめに	5
1.1. 著作権について	5
1.2. 免責事項について	5
1.3. 商標について	5
1.4. 本マニュアルの表示について	5
2. GT MAP の動作環境	6
2.1. GT-M AP の推奨動作環境	6
2.2. ライセンスについて	7
3. GT MAP のインストールとアンインストール法	8
3.1. インストール法	8
3.2. アンインストール法	9
4. GT MAP のメタデータ	10
4.1. GT 形式	10
4.2. TIMEMAP 形式	10
5. 起動方法	11
5.1. 起動手順と開始画面	11
6. GT MAP の画面構成	12
6.1. 画面構成	12
6.2. データビュー	13
6.3. プロジェクトビュー	13
6.4. ツールバー	14
6.5. メニューバー	15
6.6. タイムスライダ	15
7. 機能の詳細	17
7.1. プロジェクトビュー:レイヤの表示・非表示	17
7.2. プロジェクトビュー:プロジェクトの表示・非表示	18
7.3. プロジェクトビュー:プロジェクト内部の展開と非展開	19
7.4. プロジェクトビュー:地図の表示順序	20
7.5. プロジェクトビュー:表示順序の変更	21
7.6. プロジェクトビュー:プロジェクトのポップアップメニュー	25

	7.7. プロジェクトビュー:レイヤのポップアップメニュー	. 26
	7.8. プロジェクトビュー:プロジェクト名の変更	. 27
	7.9. プロジェクトビュー:レイヤ図形の描写条件の変更(色・大きさ)	. 28
	7.10. プロジェクトビュー:コロプレス表示	40
	7.11. プロジェクトビュー:属性情報の表示	48
	7.12. プロジェクトビュー:レコード検索	51
	7.13. プロジェクトビュー:プロジェクトおよびレイヤの削除	. 59
	7.14. プロジェクトビュー:レイヤのローカルファイル情報の表示	. 60
	7.15. ツールバー:基本操作(選択・拡大・縮小・移動)	. 62
	7.16. ツールバー:アノテーション登録	69
	7.17. ツールバー:アノテーション検索	72
	7.18. ツールバー:距離計算	75
	7.19. ツールバー:面積計算	77
	7.20. ツールバー:重心計算	80
	7.21. ツールバー:印刷	83
	7.22. メニューバー:プロジェクトデータを新規作成	86
	7.23. メニューバー:プロジェクトデータを開く	87
	7.24. メニューバー:プロジェクトデータを別名で保存	88
	7.25. メニューバー:プロジェクトデータを削除	88
	7.26. メニューバー:プロジェクトデータのプロパティ	89
	7.27. メニューバー:状態セーブ	90
	7.28. メニューバー:状態の復元	90
	7.29. メニューバー:終了	90
	7.30. メニューバー:レイヤインポート	91
	7.31. メニューバー:レイヤエクスポート	92
	7.32. メニューバー:レイヤ削除	95
	7.33. メニューバー:レイヤ間演算(ディゾルブ)	96
	7.34. メニューバー:レイヤ間演算(アペンド)	99
	7.35. メニューバー:レイヤ間演算(ユニオン)	101
	7.36. メニューバー:レイヤ間演算(インターセプト)	103
	7.37. メニューバー:レイヤ間演算(バッファ)	105
	7.38. メニューバー:レイヤ間演算(クリップ)	107
	7.39. メニューバー:時間範囲のアニメーション	109
	7.40. メニューバー: 10 進数表示⇔60 進数表示変換ツール	115
	7.41. メニューバー:GPS トラッキング	.117
	7.42. メニューバー:機能設定	119
8	付録	122
0.		
	7.43. NMEA-0183 フォーマット	122

	7.44. 言語データファイル	128
9.	用語集	130

1. はじめに

1.1. 著作権について

本書の著作権は、大学共同機関法人人間文化研究機構が保有しております。本書の一部あるいは 全部について、無断で複写、複製することは禁じられています。

1.2. 免責事項について

大学共同機関法人人間文化研究機構および GT-Map ソフトウェアに開発に関与した個人または団体は、GT-Map ソフトウェアを直接または間接的に利用したこと、もしくは利用不能により生じたいかなる損害も、その原因、予見可能性、瑕疵の有無にかかわらず一切の責任を負いません。

1.3. 商標について

本書に記載されている社名・商品名およびロゴマークは、一般に各社の商標または登録商標です。 本文中には、TM や®マークは記載しておりません。

1.4. 本マニュアルの表示について

- Windows のダイアログボックスは、「ウインドウ」もしくは「ダイアログ」と表記しています。
- マウスの左ボタンをクリックすることを単に「クリック」と表記しています。左右のボタン を区別する必要がある場合は、「左クリック」あるいは「右クリック」と表記しています。
- ダイアログなどのチェックボックス、ラジオボタンにマウスポインタを合わせてクリックし、
 ☑ または○ の状態にすることを「チェックする」と表記しています。
- ダイアログなどのチェックボックス、ラジオボタンにマウスポインタを合わせてクリックし、
 または[●]の状態にすることを「クリアする」と表記しています。
- 上記の選択、チェックおよびクリア操作は、マウスの左ボタンのクリックで行います。
- プルダウンあるいはポップアップメニューを開くには、マウスの右ボタンをクリックします。
- ドラッグとは、開始点においてマウスの左ボタンを押し、そのまま終点までマウスポインタ を移動した後にマウスの左ボタンを離す一連の操作です。
- データビュー(『6.2 データビュー』参照)上における矩形選択とは、データビュー上におて い選択したい矩形領域を北西端から南西端へドラッグすることにより指定する操作です。
- 特に注意する点には、「重要」「注意」「Note」「Notice」をつけて記述しています。
- Windows のバージョンによって、若干表示・表現が異なる事があります。

2. GT-Map の動作環境

2.1. GT-Map の推奨動作環境

表 2-1 推奨動作環境

項番	項目	内容					
1	OS	Windows XP (SP3) ,Windows Vista, Windows 7					
2	ブラウザ	Internet Explorer 6 以降, Mozilla Firefox 2.0 相当もしくはそれ					
		以降のバージョン					
3	Java 実行環境	Java Runtime Environment (JRE) 1.6 以降のバージョン					
4	Java ライブラリ	The Java Advanced Imaging Libraries (JAI)					
		The Java Advanced Imaging Image I/O Tools					

2.1.1. Java Runtime Environment のバージョン確認



製品のところにバージョンが表示されます()。

2.2. ライセンスについて

GT-Map は、LGPL (GNU Lesser General Public License) により配布しております。その他、GT-Map で使用しているライブラリのライセンスは表 2-2 のとおりです。

項番	ライブラリ名	URL	ライセンス	
1	L2FProd	http://www.l2fprod.com/	Apache ライセンス 2.0	
2	JTS	http://www.vividsolutions.com/jts/jtshome.htm	LGPL	
3	Geoapi	http://www.opengeospatial.org/ogc/legal	OGC ライセンス	
4	GeoTools	http://geotools.org/	LGPL	
			GPL+CE	
5	JSR-108	http://jscience.org/	JScience ライセンス	
	JSR-275			
6	JPF	http://jpf.sourceforge.net/license.html	GPL2 ライセンス	
7	javacc	http://www.opensource.org/license/bsd-license.php	BSD ライセンス	
	jai			

表 2-2 ライセンスについて

3. GT-Map のインストールとアンインストール法

3.1. インストール法

所定のサイトから GT-Map.zip ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイ ルを解凍してください。解凍されたフォルダ(以下、GT-Map システムフォルダ)は任意の場所 に移動することができます。

3.1.1. 解凍されるフォルダについて

GT-Map システムフォルダには図 3-1 に示すようなファイルとフォルダが含まれています。ファイルとフォ ルダの概要を表 3-1 に示します。



図 3-1 GT-Map システムフォルダ

項番フォルダ名・ファイル
名機能1binプログラムライブラリフォルダ2defaultデフォルトの地図データ3gtmap.exeGT-Map 実行ファイル

表 3-1 GT-Map システムフォルダの内容

3.1.2. 自動的に作成されるフォルダについて

GT-Map を起動すると(『5. 起動方法』参照)、表 2-2 に示す場所にユーザ用のフォルダ(以下、 <u>GT-Map ユーザフォルダ</u>)が作成されます。GT-Map ユーザフォルダには 表 3-3 に示しようなフォルダが作成されます。

表 3-2 GT-Map ユーザフォルダのロケーション

項番	OS	ユーザフォルダのロケーション
1	Windows XP	C:¥Documents and Settings¥<ユーザ名>¥.GT-Map
2	Windows Vista	C:¥Users¥<ユーザ名>¥.GT-Map
3	Windows 7	C:¥Users¥<ユーザ名>¥.GT-Map

Note <ユーザ名>は、Windows にログインする際のユーザ名になります。

表 3-3 GT-Map ユーザフォルダの内容

項番	フォルダ名	機能
1	cached	プログラム上で使用するキャッシュフォルダ
2	conf	設定ファイル
3	lib	プログラムライブラリ
4	temp	プログラム上で使用する一時ファイルフォルダ
5	resource	言語ファイルフォルダ
6	status	スナップショットのデータフォルダ

3.2. アンインストール法

GT-Map システムフォルダを削除してください。

Note GT-Map ユーザフォルダの内容をすべて削除すると完全に削除されます。

4. GT-Map のメタデータ

GT-Map ではレイヤデータ(『9 用語集』参照)を操作するためのメタデータ(レイヤメタデータ とプロジェクトメタデータ)が必要です。GT-Map で扱うメタデータは、GT 形式と TimMap 形式 の2つの形式があります。

4.1. GT 形式

GT形式は、GT-Mapの機能を十分に生かすため作成された独自の形式です。GT-Mapでは、GT 形式のメタデータを基本としています。

表 4-1 GT 形式

項番	概要	機能	拡張子
1	プロジェクトデータ	プロジェクトに関するメタ情報が含まれてい	gts
		ます。	
2	レイヤデータ	レイヤに関するメタ情報が含まれています。	gtm

4.2. TimeMap 形式

シドニー大学が開発した GIS ツール TimeMap (<u>http://www.timemap.net</u>)です)で利用しているレ イヤデータを利用するためのメタデータ形式です。

表 4-2 TimeMap 形式

項番	概要	機能	拡張子
1	プロジェクトデータ	プロジェクトに関するメタ情報が含まれてい	tms
		ます。	
2	レイヤデータ	レイヤに関するメタ情報が含まれています。	tmm

5. 起動方法

5.1. 起動手順と開始画面

GT-Map は、gtmap.exe ファイルをダブルクリックすることによって起動します。標準状態では、 "Base Maps" プロジェクトファイルが読込みます。

() GT-Map (20100802)											
File Layer Project Tools Help											
WorkSpace		€ ⊕	1	x K f	± a						
	Selecter	0 I Papga :	-1-01-0	14.700-00-0	07 - 20	110.12.21	<u></u>	07	3	30000 km	
	-1	200	400	6000.00.0	800	1000	1200	1400	1600	1800	2010
		200	400	600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2010
	 -1-01- 	01	►			リセット			4 20)10-12-31	
										143.68	7102.7803

図 5-1 GT-Map 起動画面

WorkSpace とは、プロジェクト(『9.用語集』参照)やレイヤ(『9.用語集』参照)が読込まれる作業スペースです。

Note

6. GT-Map の画面構成

6.1. 画面構成

GT-Map 画面は、7つの部分から構成されています。

🕕 GT-Map (20100802)	(d)	
File Layer Project Tools Help		
WorkSpace □		
(b)	(a)	
(f)	0 Selected Range: -1-01-01T00:00:00Z ~ 2010-12-31T00:00:00Z -1 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1 200 400 600 800 (e) 1400 1600 1 400 1600	30000 km 1800 2010 1800 2010 2010-12-31 ►
		6/

図 6-1 画面構成

表 6-1 画面構成の説明

項番	機能	説明
(a)	データビュー	レイヤデータ(地図や写真など)や距離計などを表示します。
(b)	プロジェクトビュー	読み込まれたレイヤとプロジェクトの表示および操作を行
		います(『9.用語集』参照)。
(c)	ツールバー	データビューの縮小拡大や検索などを行います。
(d)	メニューバー	レイヤの読込や検索などを行います(『9.用語集』参照)。
(e)	タイムスライダ	表示時間範囲をスライダにより設定します。
(f)	レイヤプロパティ	コロプレスの凡例を表示します(『9.用語集』参照)。
(g)	ステータスバー	ステータスが表示します。

6.2. データビュー

データビューは、地図データ、図形データ、衛星写真データなどの時空間データを表示する部分 です。どの時空間データをどのように表示するかは、プロジェクトビューで指定します。また、 どの時間範囲を表示するかは、タイムスライダで指定します。

6.3. プロジェクトビュー

GT-Map では、時空間データをレイヤとプロジェクトという単位で管理します。プロジェクトビ ューには、GT-Map が処理している時空間データの構造を表示します。さらに時空間データの表 示・非表示の指定、時空間データの表示順序の指定、図形の色や大きさ・透過度などの描写指定、 時空間データの検索などを行うこともできます。プロジェクトビューで表示されるアイコンと意 味を表 6-2 に示します。

表 6-2 プロジェクトビューのアイコン

項番	アイコン	説明
1	围	プロジェクト
2		レイヤ

6.4. ツールバー

ツールバーで表示されるアイコンと機能の概要を表 6-3 に示します。

項番	アイコン	機能	
1	لم	アンドゥ	縮小拡大の履歴をさかのぼります。
2	₽	ズームイン	地図を拡大します。
3	O	ズームアウト	地図を縮小します。
4	ф	パン	地図を平行移動します。
5	N N	佑式站中	空間検索の際に、マウス操作により地図上の矩
		龙 /沙迭/八	形領域を指定します。
6	Y X	アノテーション登録	レイヤに対してアノテーションを追加します
7	L.	アノテーション矩形選	アノテーションを検索する際に、マウス操作に
		択	より地図上の矩形領域を指定します。
8	É	今休 志三	データビュー画面いっぱいに世界地図を表示
		主冲衣小	します。
9		地会レイヤ県十志三	アクティブなレイヤ(『9.用語集』参照)の図
		旧たレイ、取八衣小	形をデータビュー画面いっぱいに表示します。
10		1111111111111111111111111111111111111	データビューにおいて、任意の2点間の距離を
			測定します。
11	12	計測ツール (声待)	データビューにおいて、任意の多角形の面積を
		前例ノ ⁻ /レ(国傾)	計測します。
12	X	計測い一ル(まふ)	データビューにおいて、任意の多角形の重心点
			を計測します。
13		白田山	データビューに表示されている状態を印刷し
		[ייחע רן	ます。

表 6-3 ツールバーの説明



Note データビュー上における矩形選択とは、データビュー上の選択したい矩形領域を北 西端から南西端へカーソルをドラッグすることにより指定する操作です。

6.5. メニューバー

メニューバーには5つの機能が用意されています。

項番	機能	説明
1	File	ファイル操作に関するメニュー
2	Layer	レイヤ操作に関するメニュー
3	Project	プロジェクト操作に関するメニュー
4	Tools	GIS 関連ツールの起動など
5	Help	バージョン情報の情報表示

表 6-4 メニューバー構成

6.6. タイムスライダ

6.6.1. タイムスライダの構造

						(a)		
Selected Range	: -1-01-0)1T00:00:0)0Z ~ 2010-12-	31T00:00:0	10Z			(\mathbf{b})
-1 200	400	600	000 <u>4000</u>	1200 	1400	1600	18	(0)
1 200	400	600		1200	1400	1600	1800	20 <mark>1</mark> 0
 -1-01-01 	Þ		リセッ	۲		◀ 20	10-12-3	1
(d)			図 6-2 タイム	スライダ			(d))

表 6-5 タイムスライダの説明

項番	機能	説明
(a)	選択時間範囲(詳細)	選択時間範囲を詳細表示します。
(b)	選択時間範囲	この時間範囲内にあるデータがデータビューに表示されま
		す。
(c)	操作可能時間範囲	操作可能な時間範囲が表示されます。左右の赤いバーと青い
		バーを操作することで、選択時間範囲を指定します。
(d)	操作可能時間範囲の	操作可能な時間範囲を設定します。
	設定	

6.6.2. 操作可能時間範囲の変更

左下ボックスで操作可能時間範囲の下限、右下ボックスで上限を設定します。 テキストボックスへ値を入力するか、マウスで「ボタン又は」「ボタンをクリックして変更しま す。

■ボタンをクリックすると可能時間を過去側へ変更します。

▶ボタンをクリックすると可能時間を未来側へ変更します。

テキストボックスには、yyyy-mm-ddのように年月日をハイフン(-)で接続した文字列で時間を 指定します。入力後、キーボードの「Enter」キーを押下すると、指定した時間がタイムスライダ に反映されます。





- Note 年のみ(yyyy)の入力も可能です。このとき、開始日付なら指定年の元日つまり yyyy-01-01 に、終了日付なら大晦日つまり yyyy-12-31 となります
- Note 年月のみの入力(yyyy-mm、例えば 2000-10)はエラーとなります。
- Note 月あるいは日を1桁で表すと(yyyy-m-d、例えば2000-05-02を2000-5-2と入力する)エラーとなります。ただし年についてはy、yy、yyyも可能です。

6.6.3. 操作可能範囲のリセット

操作可能時間範囲を初期状態に戻す場合は、「リセット」ボタンをクリックします。



図 6-4 操作可能範囲のリセット

7.機能の詳細

7.1. プロジェクトビュー: レイヤの表示・非表示

プロジェクトビューにおいて、レイヤ名の左にあるチェックボックスをチェックすると、そのレ イヤがデータビューに表示されます(表示状態)。クリアにすると、そのレイヤは非表示になりま す(非表示状態)。



図 7-1 レイヤの表示・非表示

7.2. プロジェクトビュー:プロジェクトの表示・非表示

プロジェクトビューにおいて、プロジェクト名の左にあるチェックボックスをチェックすると、 チェックされたプロジェクトの配下にある表示状態のレイヤ(7.1参照)がデータビューに表示さ れます(表示状態)。クリアにするとプロジェクトの配下にあるレイヤはすべてが非表示になりま す(非表示状態)。



図 7-2 プロジェクトの表示・非表示

Note プロジェクをト「非表示状態」にすると、そのプロジェクト内部のレイヤやプロジェクト は、それらか「表示」になっていても、すべて非表示になります。ただし、プロジェクト 内部のレイヤやプロジェクトの表示・非表示の状態は変化しません。

7.3. プロジェクトビュー:プロジェクト内部の展開と非展開

プロジェクトの表示・非表示を指定するチェックボックス(7.2参照)の左側の+マークをクリッ クすると、そのプロジェクトの配下にあるレイヤやプロジェクトの配置や表示・非表示の状態が 表示されます(展開状態)。-マークをクリックすると、そのプロジェクト内部の配下にあるレイ ヤやプロジェクトの配置や表示・非表示の状態が表示されなくなります(非展開状態)。



図 7-3 プロジェクトの下位階層を展開・非展開

Note プロジェクトビューの展開・非展開が、データビューにおけるレイヤの表示・非表示 状態に影響を与えることはありません。

7.4. プロジェクトビュー:地図の表示順序

データビューにおける地図の表示順序は、プロジェクトビューにおけるレイヤの配置順序に一致 します。図 7-4 の場合、一番下に World Map、その上に Japan Map、さらにその上に Country of the World が重ね書きされ、一番上が Earthquake Sample となります。そのうち、実際に表示される 地図は、プロジェクトビューで表示状態となっているレイヤです(7.1 および 7.2 参照)。



図 7-4 地図の表示順序

Note レイヤの表示順序によっては、レイヤとプロジェクトが表示状態であってもデータビュ ーに表示されない場合があります。例えば表示状態のラスターデータ(『9.用語集』 参照)のレイヤが存在していると、画面全体が上書きされてしまいます。そのため、ラ スターレイヤの下にあるレイヤは表示状態であっても見ることはできません。例えば 道路地図の上に航空写真が重ね書きされていると、道路地図は見えません。 このような場合、上にあるラスターレイヤを非表示にするか(7.1 および 7.2 参照)、レ イヤの順序を入れかえるか(7.5 参照)、透過にする必要があります(7.9.2 参照)。

7.5. プロジェクトビュー:表示順序の変更

表示順序を変えたいレイヤ(あるいはプロジェクト)をドラッグすると青いバーが表示され移動 します。移動したい位置まで青いバーをドラッグすると、レイヤ(あるいはプロジェクト)はそ の位置に移動します。



図 7-5 表示順序の変更

7.5.1. プロジェクトの内部(非展開状態)へ移動

表示順序を変えたいレイヤ(あるいはプロジェクト)をプロジェクト名の上にドラッグすると青 い枠が表示されます。青い枠を移動したいプロジェクトまでドラッグすると、レイヤ(あるいは プロジェクト)はそのプロジェクトの最上位に移動します。



図 7-6 非展開プロジェクトへの移動

Note 内部に多くのレイヤ(あるいはプロジェクト)を含んでいるプロジェクトが展開表示状態(7.3

プロジェクトビュー:プロジェクト内部の展開と非展開参照)であると、レイヤの移動は 面倒です。プロジェクトを非展開表示(7.3 参照)にすると効率的です。

7.5.2. プロジェクトの内部(展開状態)に移動

表示順序を変えたいレイヤ(あるいはプロジェクト)をドラッグすると青いバーが表示されます。 青いバーを移動させたいプロジェクト内の任意の位置までドラッグすると、レイヤはその位置に 移動します。



図 7-7 展開プロジェクトへの移動

Note プロジェクトを非展開表示(『7.3 プロジェクトビュー:プロジェクト内部の展開と非展開』参照)でレイヤ(プロジェクト)を 移動させると、任意の位置に移動することができます。

7.5.3. プロジェクトの間に移動

表示順序を変えたいレイヤ(あるいはプロジェクト)をドラッグするとドラッグすると青いバー が表示されます。移動したい位置(青いバーの位置)でドラッグを終了すると表示順序が変更さ れます。この場合、レイヤは該当プロジェクトの間に移動します。



図 7-8 プロジェクト間に移動(プロジェクト非展開)



図 7-9 プロジェクト間に移動(プロジェクト展開状態)

- Note 移動中のレイヤ(あるいはプロジェクト)がレイヤ間にあるのかプロジェクト間にあるの かは、表示される青いバーの長さで識別できます。レイヤ間にあるとき、青いバーは チェックボックス(7.1 および 7.2 参照)まで延びていません。プロジェクト間にあるとき 青いバーはチェックボックスまで延びています。操作の目安として下さい。
- Note

一番下にあるプロジェクトが展開している状態で、あるレイヤ(あるいはプロジェクト) をそのプロジェクトより下に移動することはできません(一番下のプロジェクト内の一 番下に移動します)。例えば図 7-9 において Classic Earthquake Demo プロジェ クトと Base Map プロジェクトの順序を入れ替える場合、Base Map プロジェクトは非 展開にしておく必要があります。展開のまま移動すると、Classic Earthquake Demo プロジェクトは Base Map プロジェクト内の World Map レイヤの下に移動し ます。

7.6. プロジェクトビュー:プロジェクトのポップアップメニュー

対象となるプロジェクトにマウスポインタを移動し、右クリックするとポップアップメニューが 表示されます。

Selection ON/OFF
Project Edit
Record View Search
Delete
Property

図 7-10 プロジェクトのポップアップメニュー

表 7-1 プロジェクトのポップアップメニューの説明

項番	機能	説明	参考ページ
1	Selection ON/OFF	プロジェクトの表示・非表示	7.2 の操作と同じ
2	Project Edit	プロジェクト情報の編集	7.8 を参照
3	Delete	プロジェクトの削除	7.13 の操作と同じ

7.7. プロジェクトビュー:レイヤのポップアップメニュー

対象となるレイヤにマウスポインタを移動し、右クリックするとポップアップメニューが表示さ れます。

Selection ON/OFF
Feature Edit
Record View Search
Delete
Property

図 7-11 レイヤのポップアップメニュー

表 7-2 レイヤのポップアップメニュー

項番	機能	説明	参考ページ
1	Selection ON/OFF	レイヤの表示・非表示	7.1 の操作と同じ
2	Feature Edit	レイヤ図形の描写条件の変更	7.9 を参照
3	Record View	レイヤ属性情報の表示	7.11 を参照
4	Search	レイヤ属性情報の検索	7.12 を参照
		(レイヤが検索可能である場合)	
5	Delete	レイヤの削除	7.13 を参照
6	Property	レイヤのローカルファイル情報の表	7.14 を参照
		示	

7.8. プロジェクトビュー:プロジェクト名の変更

プロジェクト名を変更します。対象となるプロジェクトを選択して、右クリックをするとポップ アップメニュー (図 7-10) が表示されます。ポップアップメニューから「Project Edit」メニュー を選択すると、プロジェクト名の編集ダイアログ (図 7-12) が表示されます。プロジェクト名の 編集ダイアログを利用してプロジェクト名を変更します。

Base Maps

図 7-12 プロジェク名の編集ダイアログ

表 7-3 プロジェクト名の編集ダイアログの説明

項番	機能	説明
(a)	Project タブ	プロジェクトに関する情報を表示します。
		ーアイコンをクリックすると、このタブに関連する項目が非
		展開表示になります。+アイコンをクリックすると、このタ
		ブに関連する項目が展開表示されます。
(b)	Project Name	プロジェクト名。ここを修正します。
(c)	OK ボタン	変更を有効にしてダイアログを閉じます。
(d)	Cancel ボタン	ダイアログを閉じます。

Note

この変更を反映させるには、プロジェクトをセーブするか状態セーブ(7.27 メニュー バー:状態セーブ)する必要があります。

7.9. プロジェクトビュー:レイヤ図形の描写条件の変更(色・大きさ)

図形の描画条件等を変更します。

対象となるレイヤを選択して、右クリックをするとポップアップメニュー(図 7-11) が表示され ます。ポップアップメニューの「Feature Edit」を選択するとフィーチャ編集ダイアログ(7.9.1 参 照)が表示されます。

() GT-Map (20100802)		
File Layer Project Tools H	elp	
WorkSpace WorkSpace V S Base Maps V S World Ma V S World Ma	Selection ON/OFF Feature Edit Record View Search Delete Property	
	0 200 Selected Range : -1-01-01T00:00:00Z ~ 2010-12-31T00:00:00Z -1 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 ▲ -1-01-01 ↓ Utz > h ▲ 201	0 km 1800 2010 1800 2000 0-12-31 ►
		121.2926.35.9329

図 7-13 レイヤの描写条件の変更

7.9.1. フィーチャ編集ダイアログ

Feature Layer	
E Layer	
Layer Name	Japan Map
Choropleth Visible	
Annotation Visible	\checkmark
Symbol	
Symbol Fill	
Outline Color	#999999
Background Color	#FFFFF
Symbol Size	1
Symbol Type	Polygon
Symbol(Selection)	
Outline Color	#FF0000
Background Color	#FF0000
Annotation	
Symbol Fill	
Outline Color	#000000
Background Color	#000000
Symbol Size	1
Annotation(Selection)	
Outline Color	#FF0000
Background Color	#FF0000
Symbol Size	2
	OK Cancel

図 7-14 フィーチャ編集ダイアログ

表 7-4 フィーチャ編集ダイアログの説明

項番	機能	説明
(a)	Feature タブ	フィーチャの描写条件を変更します。
(b)	Layer タブ	レイヤ情報に変更します。
(c)	OK ボタン	変更を有効にしてダイアログを閉じます。
(d)	Cancel ボタン	ダイアログを閉じます。

Note 各タブの横にあるーアイコンをクリックすると、そのタブに関連する項目が非展開表 示になります。+アイコンをクリックすると、そのタブに関連する項目が展開表示され ます。

7.9.2. Feature タブ

Feature タブによりレイヤ全体にかかわる情報を編集します。

● Layer : レイヤの基本的な表示機能を設定します。

レイヤ表示にかかわる情報を編集することができます。

 Layer 	
Layer Name	Japan Map
Choropleth Visible	
Annotation Visible	

図 7-15 レイヤ設定画面 (ラスターレイヤ以外の時)

Layer	
Layer Name	Japan Map
Alpha Value	1.0
Choropleth Visible	
Annotation Visible	

図 7-16 レイヤ設定画面 (ラスターレイヤの時)

表 7-5 レイヤ設定画面の説明

項番	項目	説明
1	Layer Name	レイヤ名
2	Alpha Value	アルファ値
		(0~1まで。0は透過、1は不透過)
3	Choropleth Visible	コロプレスの表示・非表示
4	Annotation Visible	アノテーションの表示・非表示
		(チェックをすると表示、クリアにすると非表示)

Symbol : 地図上に表示する図形の色や大きさなどの描写条件を設定します。ただし、ラスターデータの場合、この描写条件は設定できません。Symbol 部分では通常の表示状態を、Symbol (Selection)部分では索等で図形が選択された場合の表示状態を設定します。

図形の色、大きさなどの描写条件を編集できます。ただし、ラスターレイヤに場合、この描写条件を編集することはできません。

Symbol	
Symbol Fill	
Outline Color	#999999
Background Color	#FFFFF
Symbol Size	1
Symbol Type	Circle
Symbol(Selection)	
Outline Color	#FF0000
Background Color	#FF0000

図 7-17 シンボル設定画面 (ラスターレイヤ以外の時)

Symbol	
Symbol Fill	I
Outline Color	#FFFF00
Background Color	#FFFF00
Symbol Size	5
Symbol Type	Image
Symbol(Selection)	
Outline Color	#FF0000
Background Color	#FF0000
Outline Color Background Color Symbol Size Symbol Type Symbol(Selection) Outline Color Background Color	#FFFF00 5 Image #FF0000 #FF0000

図 7-18 シンボル設定画面 (ラスターレイヤの時)

項番	項目	説明
1	Symbol Fill	図形の内部を塗りつぶすかどうか(チェックをすると背
		景色で塗りつぶす、クリアにすると塗りつぶさない)
2	Outline Color	図形の輪郭色(『7.9.4 フィーチャの色をフィーチャの色
		を』参照)
3	Background Color	図形の内部の色(『7.9.4 フィーチャの色をフィーチャの
		色を』参照)
4	Symbol Size	図形の大きさ
		(1 から 100 まで)
5	Symbol Type	図形の形状(円、星等)
6	Outline Color	選択された時の図形の輪郭色(『7.9.4 フィーチャの色を
	Symbol(Selection)部分	フィーチャの色を』参照)
7	Background Color	選択された時の図形内部の色(『7.9.4 フィーチャの色を
	Symbol(Selection)部分	フィーチャの色を』参照)

表 7-6 シンボル設定画面の説明

Annotation : アノテーションで利用する図形の色や大きさなどの描写条件を設定します。
 設定画面において、Annotation 部分は通常の表示状態を、Annotation (Selection) 部分では
 検索等で選択された場合の表示状態を設定します。

アノテーション図形の色、大きさなどの描写条件を編集できます。



図 7-19 アノテーション設定画面

項番	項目	説明
1	Symbol Fill	図形の内部を塗りつぶすかどうか(チェックをすると背
		景色で塗りつぶす、クリアにすると塗りつぶさない)
2	Outline Color	図形の輪郭色(『7.9.4 フィーチャの色をフィーチャの色
		を』参照)
3	Background Color	図形の内部の色(『7.9.4 フィーチャの色をフィーチャの
		色を』参照)
4	Symbol Size	シンボルの大きさ(1 から 100 まで)
5	Outline Color	選択された時の輪郭色(『7.9.4 フィーチャの色をフィー
	Annotation(Selection)部分	チャの色を』参照)
6	Background Color	選択された時の背景色(『7.9.4 フィーチャの色をフィー
	Annotation(Selection)部分	チャの色を』参照)

表 7-7 アノテーション設定画面の説明

7.9.3. Layer タブ

Layer タブによりレイヤのレコードに関する情報を編集します。

Feature Layer	
DataLink	
Accessible Fields	FLAG,CITY1
WebLink Mask	
E Layer	100.000
Zoom Max (Km)	1
20011 Max [Ki11]	

図 7-20 フィーチャ編集ダイアログ (レイヤタブ)

表 7-8 フィーチャ編集ダイアログ (レイヤタブ)の説明

項番	機能	説明
(a)	Feature タブ	フィーチャの描写条件を変更します。
(b)	Layer タブ	レイヤ情報に変更します。
(c)	OK ボタン	変更を有効にしてダイアログを閉じます。
(d)	Cancel ボタン	ダイアログを閉じます。

Note 各タブの横にある-アイコンをクリックすると、そのタブに関連する項目が非展開表 示になります。+アイコンをクリックすると、そのタブに関連する項目が展開表示され ます。

● DataLink: 属性情報に関する情報を設定します。

DataLink	
Accessible Fields	FLAG,CITY1
WebLink Mask	

図 7-21 データリンクグループ (ラスターレイヤ以外の時)

DataLink	
Accessible Fields	*
WebLink Mask	

図 7-22 データリンクグループ (ラスターレイヤの時)

表 7-9 データリンクグループの説明

項番	項目	説明
1	Accessible Fields	属性情報表示(『7.11 プロジェクトビュー:属性情報の表示』
		参照)の時に表示するフィールド名を指定します。
		DataLink
		Accessible Fields FLAG,CITY1
		右端をクリックするとボタンが表示されます。そのボタンを
		押下すると、フィールド選択ダイアログ(図 7-23)が表示さ
		れます。
2	WebLink Mask	属性表示ダイアログ (図 7-37)の WebLink ボタンを押下した
		際のウェブサーバへのリンク URL 文字列を指定します。
		例) http://localhost/detail.jsp?id=[ID]
		カッコ ([]) の間も文字は、レコードのフィールド名を表
		します。選択されたレコードの ID というフィールド名を取
		得(例として7)して、ブラウザを起動し
		http://localhost/detail.jsp?id=7
		ヘアクセスします。
Layer Attribute List		
----------------------	---	
入口	-	
CITY2		
JCODE		
CITY1		
県市区町村		
TOWN		
世帯数		
FLAG		
PREF		

図 7-23 フィールド選択ダイアログ

- Note フィールドを1つ選択する場合、対象とするフィールド部分をクリックします。連続した フィールドを選択する場合は、開始フィールドをクリックし、終了フィールドで Shift キーを押しながらクリックします。連続していない複数のフィールドを選択する場合は、 Ctrl キーを押しながら選択するフィールドを一つずつクリックします。
- Layer: 地図を表示するための補助情報を設定します。

Layer		
Zoom Min [Km]	100,000	
Zoom Max [Km]	-1	

図 7-24 レイヤグループ

表 7-10 属性表示ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	Zoom Min [Km]	ズームイン・ズームアウトによって表示開始する距離
		0以下は、この設定項目は無効になります。
2	Zoom Max[Km]	ズームイン・ズームアウトによって表示終了する距離
		0以下は、この設定項目は無効になります。

7.9.4. フィーチャの色を編集

Outline Color などの色を変更する場合、フィーチャ編集ダイアログの変更したい項目をクリック します。(図 7-25)。右側にボタンが表示されます。そのボタンをクリックすると色選択ダイアロ グ(図 7-26)が表示されます。選択色ダイアログには、既成の色から選択するための「パレット 表示」と任意の色を選択できる「RGB 表示」の2種類があります。どちらかで色を選択したのち、 「OK」ボタンをクリックすると変更した色が反映されます。

Feature Layer		
🖂 Layer		
Layer Name	Japan Map	
Annotation Visible		
E Symbol		
Symbol Fill		
Outline Color	#999999	
Background Color	#FFFFF	R
Symbol Size	1	15
Symbol Type	Polygon	
Symbol(Selection)		
Outline Color	#FF0000	
Background Color	#FF0000	
Annotation		
Symbol Fill		
Outline Color	#000000	
Background Color	#000000	
Symbol Size	1	
Annotation(Selection)		
Outline Color	#FF0000	
Background Color	#FF0000	
Symbol Size	2	
	ОКС	ancel

図 7-25 フィーチャ編集ダイアログ

● パレット表示:カラーパレットから変更したい色を選択して OK ボタンをクリックすると、 その色が選択されます。



図 7-26 色変更ダイアログ (パレット表示)

表 7-11 色変更ダイアログ (パレット表示)の説明

項番	項目	説明
1	Palette タブ	パレット表示の色変更ダイアログに変更します。
2	RGB タブ	RGB 表示の色変更ダイアログに変更します。
3	OK ボタン	変更を有効にしてダイアログを閉じます。
4	Cancel ボタン	ダイアログを閉じます。
5	カラーパレット	選択できる色をパレット表示します。
6	選択された色(数値)	選択された色の RGB16 進数表記
7	選択された色	選択された色
8	変更前の色	変更される前の色



Note パレット表示の OK ボタンを押しただけではデータビューは変更されません。フィー チャ編集ダイアログのOK ボタンを押すと反映されます。

● RGB表示: RED、GREEN、BLUE の3原色により色を設定します。OK ボタンをクリック すると、その色が選択されます。



図 7-27 色変更ダイアログ (RGB 表示)

項番	項目	説明
1	Palette タブ	パレット表示の色変更ダイアログに変更します。
2	RGB タブ	RGB 表示の色変更ダイアログに変更します。
3	OK ボタン	変更を有効にしてダイアログを閉じます。
4	Cancel ボタン	ダイアログを閉じます。
5	RED	赤色(0から255もしくは、#0~#FFまで)
		スライドバーを水平に移動させると0から255と値が変
		化します。また、直接入力することが出来ます。直接入
		力の場合、16進数入力(#0から#FFまで)ができます。
6	GREEN	緑色(0から255もしくは、#0~#FFまで)
		スライドバーを水平に移動させると0から255と値が変
		化します。また、直接入力することが出来ます。直接入
		力の場合、16進数入力(#0から#FFまで)ができます。
7	BLUE	青色(0から 255 もしくは、#0~#FF まで)
		スライドバーを水平に移動させると0から255と値が変
		化します。また、直接入力することが出来ます。直接入
		力の場合、16 進数入力(#0 から#FF まで)ができます。
8	ALPHA	アルファ値
		(0~1まで。0は透過、1は不透過)
9	選択された色(数値)	選択された色の RGB16 進数表記
10	選択された色	選択された色
11	変更前の色	 変更される前の色

表 7-12 色変更ダイアログ (パレット表示)の説明

7.10. プロジェクトビュー: コロプレス表示

レイヤに対してコロプレス表示(『9.用語集』参照)の描写条件を設定できます。



図 7-28 コロプレス表示

- Note コロプレス地図を表示できるレイヤは、フィーチャの属性情報(『9.用語集』参照)に 数値データを含んでいる必要があります。たとえばラスターレイヤではコロプレス表 示することはできません。
- Note コロプレスの表示・非表示は、『7.9.2 Feature タブ』(Layer 参照)の設定に従い ます。

対象となるレイヤを選択して、右クリックをするとポップアップメニューが表示されます。ポッ プアップメニューの「Choropleth」を選択するとダイアログ(図 7-30)が表示されます。



図 7-29 コロプレス表示の編集

7.10.1. コロプレス編集ダイアログ

	Choropleth Edit Dialog Layer Japan Target Attribute 人口	Мар	
12	1000.0-9999.0 10000.0-99999.0 100000.0-999999.0	Gradation Symbol Color Change Low Value High Value Delete All Delete Update	Add
	Save Load	ОК	Close

図 7-30 コロプレス編集ダイアログ (グラデーション表示)

項番	項目	説明
1	Layer	対象となるレイヤ名
2	Target Attribute	対象となる属性名
3	Color	設定されたレンジの色
4	Change ボタン	レンジの色を変更します
		(『7.9.4 フィーチャの色をフィーチャの色を』参照)
5	Low Value	対象となる属性の値の下限値(その値を含む)
6	High Value	対象となる属性の値の上限値(その値を含む)
7	Delete ボタン	設定されたグラデーション条件を削除します
8	Update ボタン	設定されたグラデーション条件を更新します
9	Add ボタン	設定したグラデーション条件を追加します
10	OK ボタン	変更を反映してダイアログを閉じます。
11	Close ボタン	ダイアログを閉じます
12	グラデーション条件リスト	設定されたグラデーション条件のリスト
13	Save ボタン	設定されたグラデーション条件と対象と属性名を保
		存します。
14	Load ボタン	保存されたグラデーション条件と対象の属性名を読
		込みます。

表 7-13 コロプレス編集ダイアログ(グラデーション表示)の説明

7.10.2. グラデーション条件を追加

Choropleth Edit Dialog	
Layer Japan Target Attribute 人口	Map 1
1000.0-9999.0 10000.0-99999.0 100000.0-999999.0	Gradation Symbol 2 Color Change 3 Low Value 3 High Value 5 Delete All Delete Update Add
Save Load	OK Close

図 7-31 グラデーション条件の追加

グラデーション条件を追加するには、最初に対象となる属性名を選択します(①)。次にグラデーション色を選択します(②)。その属性名の値のレンジ(最小値③と最大値④)を設定し、最後に「Add」ボタン(⑤)をクリックします。

7.10.3. グラデーション条件の編集

Choropleth Edit Dialog	Map Gradation Symbol Color Change Low Value High Value Delete All Delete Update Ado	-2
Save Load	OK Close	

図 7-32 グラデーション条件の編集

編集したいグラデーション条件をクリックし(①)、「7.10.2」と同じ方法でグラデーション条件を 修正後、「Update」ボタン(②)をクリックします。

7.10.4. グラデーション条件の削除

Choropleth Edit Dialog	×
Layer Japan Target Attribute 人口	Map •
1000 0-9999 0 10000.0-99999.0	Gradation Symbol
100000.0-999999.0	Color Change
	Low Value
	Delete All Delete Update Add
Save	OK Close

図 7-33 グラデーション条件の削除

削除したいグラデーション条件(①)をクリックして、「Delete」ボタン(②)をクリックします。

7.10.5. グラデーション条件の保存

グラデーション条件を保存するには、「Save」ボタンをクリックします。クリックするとファイル 保存ダイアログが表示されますので、ファイル名を入力して保存してください。

▲ 保存				×
保存:	順 ドキュメント		• 步 🖽 🚍	
した 最近使った項 目	🍌 My Virtual Mac	hines		
デスクトップ				
ドキュメント				
(人) コンピュータ				
2	、 ファイル名:	choropleth	【保不	7(S)
ネットワーク	ファイルタイブ:	Choropleth File (*.dat)	▼	肖し

図 7-34 グラデーション条件の保存

7.10.6. グラデーション条件の読込み

保存されたグラデーション条件を読込むには、「load」ボタンをクリックします。クリックするとファイルオープンダイアログが表示されますので、ファイルを選択してください。

開<				×
参照:	順 ドキュメント		- 👌 🕫 🖽 📼	
最近使った項 目	Wy Virtual Mac	hines Va		
デスクトップ				
ドキュメント				
(人) コンピュータ				
2	 ファイル名:	choropleth.dat		開く(0)
ネットワーク	ファイルタイプ:	Choropleth File (*.dat)	•	取消し

図 7-35 グラデーション条件の読込み

7.11. プロジェクトビュー:属性情報の表示

レコードの属性情報(『9.用語集』参照)と対応する位置を地図上に表示します。対象となるレイ ヤを選択して、右クリックをするとポップアップメニュー(図 7-11)が表示されます。ポップア ップメニューの「Record View」を選択すると、属性情報ダイアログ(図 7-37)が表示されます。

🚯 GT-Map (2010080 File Layer Project To) Dis Help	
WorkSpace	Image: Selection ON/OFF Feature Edit Record View Search Delete Property	
• •	And a constraint of the second	
	0 2000 km	
	Selected Range : -1-01-01100:00:00Z ~ 2010-12-31100:00:00Z -1 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800 1 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800	2010 20 <mark>10</mark>
	√-1-01-01 ✓	
	124.	4196. <mark>33.18</mark> 39

図 7-36 属性表示

Web Link		Close
FLAG	CITY1	
1	離内市	
1	礼文町	0
1	豊富町	
1	利尻富士町	2
1	利尻町	2
1	r提3证册T	2
1	枝幸町	-
1	中頓5.IET	-
1	歌登町	
1	天塩町	
1		
1	遠知町	-
1	音威子府村	
1	雄武町	
1	美深町	
1	2011日1日	
1	·····································	
1		
1	名奏市	2.
1	爆加内町	
1		2
1		2
1		-
	11106 1 	

図 7-37 属性表示ダイアログ

表 7-14 属性表示ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	WebLink ボタン	属性のレコードに関連して、外部URLを開くことが
		できます。
2	Close ボタン	ダイアログを閉じる

- Note 属性表示で表示される属性は、『7.9.3Layer タブ』の Accessible Field を参照して ください。
- Note WebLink 機能を利用にするには、『7.9.3Layer タブ』の WebLink Mask を参照 してください。

属性情報の表示

属性の対象となるレコードをクリックすると、その属性をもった図形がハイライト表示されます (『7.9.2 Feature タブ』の Symbol 項目を参照))。



図 7-38 属性情報の表示

Note フィールドを1つ選択する場合、対象とするフィールド部分をクリックします。連続した フィールドを選択する場合は、開始フィールドをクリックし、終了フィールドでShiftキ ーを押しながらクリックします。連続していない複数のフィールドを選択する場合は、 Ctrl キーを押しながら選択するフィールドを一つずつクリックします。

7.12. プロジェクトビュー:レコード検索

検索によるレコードの絞り込みと、その地図表示を行います。対象となるレイヤを選択して右ク リックするとポップアップメニュー(図 7-11)が表示されます。レコード検索には、簡易検索 (Simple Search)と詳細検索(SQL Search)があります。

GT-Map (20100802)	
File Laver Project Tools	Help
WorkSpace	
- V S Japan World I	Selection ON/OFF
	Feature Edit
	Record View
	Search Simple Search
	Delete
	Property
	0
^*	and see the second seco
	0 2000 km
	Selected Range: -1-01-01T00:00:00Z ~ 2010-12-31T00:00:00Z
	-1 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800 2010
	1 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800 20 0
	 -1-01-01 リセット 4 2010-12-31
	125.1701.24.9369

図 7-39 属性情報の検索

7.12.1. 簡易検索

ポップアップメニューの「Simple Search」を選択すると、属性情報簡易検索ダイアログ(図 7-40) が表示されます。簡易検索により、特定の条件を満たすレコードを抽出し、それらを地図上でハ イライト表示したり、新しいレイヤを生成したりすることができます。

								Close		
Column of		All Columns 🔻								
Keywor	d :						search	Reset		
Now	Lover									
IVEV	Layer									
口人	CITY2	JCODE	CITY1	県市	TOWN	世帯数	FLAG	PREF		
45754		1214	稚内市	稚内市		17638	1	北海道…		
4375		1517	礼文町	礼文町	礼文郡	1707	1	北海道…		
5504		1516	豊富町	豊富町	天塩郡	1915	1	北海道…		
4398		1519	利尻富	利尻富	利尻郡…	1526	1	北海道		
4104	1	1518	利尻町…	利尻町	利尻郡	1403	1	北海道…		
3095		1488	幌延町…	幌延町	天塩郡	1141	1	北海道		
8428	1	1514	枝幸町	枝幸町	枝幸郡	3021	1	北海道…		
2754		. 1513	中頓別	中頓別	枝幸郡	997	1	北海道		
2716		1515	歌登町…	歌登町	枝幸郡	1076	1	北海道…		
4931		. 1487	天塩町	天塩町	天塩郡…	1910	1	北海道…		
2602		1471	中川町…	中川町	中川郡	1046	1	北海道…		
3912		1486	遠別町…	遠別町	天塩郡	1453	1	北海道…		
1480		. 1470	音威子	音威子	中川郡	619	1	北海道…		
5976		1563	雄武町…	雄武町	紋別郡	2177	1	北海道…		
6540		1469	美深町…	美深町	中川郡	2379	1	北海道…		
1928		1485	初山別	初山別	苫前郡…	721	1	北海道…		
5277		1561	興部町	興部町	紋別郡	1977	1	北海道…		
4747	1	1468	下川町…	下川町	上川郡	1837	1	北海道…		
28749		1221	名寄市	名寄市		10942	1	北海道…		
2414		1439	幌加内	幌加内	雨竜郡	918	1	北海道…		
10102		1484	羽幌町	羽幌町	苫前郡…	3968	1	北海道…		
10102		. 1484	羽幌町	羽幌町	苫前郡	3968	1	北海道…		
10102		1484	羽幌町…	羽幌町	苫前郡…	3968	1	北海道…		
1050	1	4500	(as trD	(ma.++17	ALD HER	100	1.	11. 1		

図 7-40 属性情報簡易検索ダイアログ

表	7-15	属性情報簡易検索ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	Column of	検索対象の属性名を指定します。
2	Keyword	キーワードを入力します(検索はキーワードによる中
		間一致です)。
3	Search ボタン	検索を開始します。
4	Reset ボタン	検索結果をリセットします。
5	New Layer ボタン	検索結果を新規レイヤとして作成します。
6	Close ボタン	ダイアログを閉じる

レコードを検索する

属性に対して文字列検索を実行します。検索は中間一致で、正規表現も利用できます。検索対象の属性名を選択(①)して、検索するキーワード(②)を入力します。つぎに「Search」ボタン (③)をクリックすると検索を開始します。この検索により抽出されたレコードは、属性情報簡 易検索ダイアログ上で濃い黒で表示されます。同時に、地図上では、該当するレコードの図形が 選択色(『7.9.2Feature タブ』のSymbol(Selection)参照)で表示されます。

Column	of	All Colur	mns 👻	\sim		_	Search	Hese	t]		
Keyword	1 :							/				
New	Layer					Ø						
70	CITY2	JCODE	CITY1	県市	TOWN	世界数	FLAG	PREF				
45754	1	1214	稚内市	稚内市	Ι	17638	1	北海道。				
4375	1	1517	礼文町	礼文町	礼文郡	1707	1	北海道	-	3		
5504		1516	豊富町	豊富町	天塩郡	1915	1	北海道	1			
4398	1	1519	利尻富	利尻富	利尻郡	1526	1	北海道	1			
4104		1518	利尻町	利尻町	利尻郡	1403	1	北海道				
3095		1488	幌延町	·····································	天塩郡	. 1141	1	北海道			L	
8428		1514	枝幸町	枝幸町	枝幸郡	3021	1	北海道				
2754		1513	中頓別	中頓別	枝幸郡	. 997	1	北海道				
2716		1515	歌登町	歌登町	枝幸郡	1076	1	北海道				<u> </u>
4931		1487	天塩町	天塩町	天塩郡	1910	1	北海道				
2602		1471	中川町	中川町	中川郡	1046	1	北海道				
3912		1486	遠別町…	遠別町…	天塩郡	1453	1	北海道				
1480		1470	音威子	音威子	中川郡	619	1	北海道			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
5976		1563	雄武町	雄武町	紋別郡	. 2177	1	北海道				
6540		1469	美深町	美深町	中川郡	. 2379	1	北海道				
1928		1485	初山別	祁川山房川	苫前郡	. 721	1	北海道				
5277		1561	興部町	與部町	紋別郡	. 1977	1	北海道				
4747		1468	下川町	下川町	上川郡	. 1837	1	北海道				
28749		1221	名寄市	名寄市		10942	1	北海道				
2414		1439	幌加内	幌加内	雨竜郡	. 918	1	北海道				
10102		1484	羽幌町	羽幌町	苫前郡	. 3968	1	北海道				
10102	1	1484	习31提町	羽幌町	苫前郡	3968	1	北海道	1			
10102	1	1484	习习机是町	羽幌町	苫前郡	3968	1	北海道。	1_			

								Close		
Column	of	All Colur	mns 🔻			F				
Keyword :		Search Search								
New	Layer	48 hit								
人口	CITY2	JCODE	CITY1	県市	TOWN	世帯数	FLAG	PREF		
4246		38350	己间町	之前町		1745	1	愛修良		
6469	57	34328	能美町	能美町	佐伯郡	2485	1	広島山		
8026	1	30324	桃山町	桃山町	那智歌	2353	1	和歌山		
64923	52	36202	鸣門市	响門市		20541	1	徳島県		
9226	52	.37301	引田町…	引田町	大川郡	2925	1	香川県		
3112	525	. 34429	木江町	木江町	費田郡	1386	1	広島県…		
2479	57.	. 38352	岩城村	岩城村	越智郡	923	1	愛媛県		
2276	575	13364	神津島	神津島		. 777	1	東京都		
20022	52	30325	貴志川	貴志川	那賀郡	5929	1	和歌山		
8356	52	38348	伯方町	伯方町	越智郡	3063	1	愛媛県		
9783	52	. 37423	三野町	三野町	三豐郡	2607	1	香川県		
7124	52	. 37381	綾上町	綾上町	綾歌郡	1937	1	香川県		
64923	52	. 36202	鳴門市	鳴門市		20541	1	徳島県		
64923	52	. 36202	鳴門市	鳴門市	1	20541	1	徳島県		
1023	32	. 29451	上北山	上北山	吉野郡	439	1	奈良県		
108671	32	35205	徳山市…	徳山市		41422	1	山口県…		
871	1	. 29448	大塔村…	大塔村	吉野郡	395	1	奈良県		
107386	52	. 35208	岩国市…	岩国市		39977	1	山口県…		
13148	52	. 37402	満濃町…	満濃町	仲多度	3600	1	香川県		
7482	52	. 37427	仁尾町	仁尾町	三豊郡	2190	1	香川県		
875	34	. 29447	野迫川…	野迫川	吉野郡	360	1	奈良県		
12002	51	. 37403	琴平町	琴平町	仲多度	4227	1	香川県		
9952	52	.34330	大柿町	大柿町	佐伯郡	3888	1	広島県		



図 7-41 属性検索結果

● 検索結果から新規レイヤを作成する

検索によって抽出したレコードのみからなるレイヤを作成します。検索終了後、「New Layer」ボ タン(①)をクリックすると、「Create New Layer」ボタン(②)が表示されるのでクリックしま す。「Create New Layer」ダイアログが表示されるので、作成するレイヤ名(③)を決め「Create」 ボタン(④)をクリックするとプロジェクトビューに新しいレイヤ(⑤)が作成されます。





図 7-42 属性検索(新規レイヤ作成)

● 検索結果をリセットする

「Reset」ボタンをクリックしてください。

									-
Column	of	All Colur	mns 🔻					Deper	
Keyword: 奈良						earch	Rese		
New	Layer	48 hit							
人口	CITY2	JCODE	CITY1	県市	TOWN	世帯数	FLAG	PREF	
22353		34524	新市町	新市町	首品郡	6372	1	広島山.	-
6806	3	29321	者の市内オオ	著B前B村寸	山辺郡	1784	1	奈良县	
4039	52	35506	須佐町	. 須佐町	阿武郡	1444	1	山口県	
43689	52		府中市	府中市		13613	1	広島県	
95165	2		大和郡	大和郡		30879	1	奈良県	1
23159	52	23623	渥美町	.渥美町	渥美郡	5676	1	愛知県	
5448	52	24402	香良洲	香良洲	一志郡	1577	1	三重県	
7294	52	34461	甲山町	.甲山町	世羅郡	2278	1	広島県	
23163	. S2	33503	真備町	. 0000	吉備郡	6443	1	岡山県	
5398	. S2	34361	加計町	加計町	山県郡	2111	1	広島県	
5484		33428	清音村	清音村	都窪郡	1578	1	岡山県	
20385	2	. 29342	平群町	. 平群町	生駒郡	5980	1	奈良県	
35076		33207	井原市	.井原市		10462	1	岡山県	-
9024	52	28421	家島町	家島町	飾磨郡	2669	1	兵庫県	
8180		33361	牛窓町	. 牛窓町	邑久郡	2645	1	岡山県	
10336		24407	三雲町	. 三雲町	一志郡	2947	1	三重県	
276664	31	. 27212	八尾市	.八尾市		96971	1	大阪府	
17903		24405	嬉野町	. 嬉野町	一志郡	5349	1	三重県	
28371	3	. 29344	斑鸠町	.斑鸠町	生駒郡	8732	1	奈良県	
5112		34386	向原町	. 向原町	高田郡	1751	1	広島県	
74188	3	. 29204	天理市	. 天理市		24441	1	奈良県	
6330		23622	赤羽根	赤羽根	渥美郡	1372	1	愛知県	
6809	3	29384	室生村	. 室生村	宇陀郡	1908	1	奈良県	

図 7-43 検索結果のリセット

7.12.2. 詳細検索

ポップアップメニューの「SQL Search」を選択すると、属性情報詳細検索ダイアログ(図 7-44) が表示されます。SQL を利用した詳細検索により、特定の条件を満たすレコードを抽出し、それ らを地図上でハイライト表示したり、新しいレイヤを生成したりすることができます。

Layer Attribute Query Dialog		X
	Clos	e
Layer Japan Map	▼ Ac	dd
the_geom FLAG CITY1		*
	SQL Command	
Clear Validation	Save	d
	New Layer Execute	e
		_

図 7-44 属性情報詳細検索ダイアログ

表 7-16	属性情報詳細検索ダイアログの説明 s	
--------	--------------------	--

項番	機能	説明
1	Layer	検索するレイヤ (テーブル)を指定します (Form 句で利用)。
2	Field List	フィールド一覧を表示します (Slelct 句や Where 句で利用)。
		フィールド名をダブルクリックすると SQL コマンドにフィ
		ールド名を追加します。
3	SQL Command	SQL コマンドを入力します。
4	Clear ボタン	SQL コマンドを削除します。
5	Validation ボタン	SQL コマンドを評価します。
6	Save ボタン	SQL コマンドを保存します。
7	Load ボタン	SQL コマンドをロードします。
8	New Layer ボタン	検索結果を新規レイヤとして作成します。
9	Execute ボタン	SQL コマンドを実行して、検索結果を表示します。
10	Add ボタン	SQL コマンドにレイヤ(テーブル)を追加する
11	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

7.12.3. 操作方法

SQL コマンドを入力して(①)、「Validation」ボタン(②)をクリックしてエラーは発生しなけれ ば、「Execute」ボタン(③)をクリックすると、しばらくして検索結果が表示されます。



図 7-45 レイヤクエリー (実行例)

Layer Attribute Query Dialog	Layer Attribute Query Dialog
SQL Validation OK	SQL Validation Error Parse Error.null
SQL 検証OK	 SQL 検証エラー

図 7-46 クエリー検証ダイアログ

Note レイヤ名とフィールド名は二重引用符合「"」で囲みます。またフィールド名は「"レイ ヤ名". "フィールド名"」のように、レイヤ名とフィールド名をピリオド「.」で繋ぎます。

● 検索結果から新規レイヤを作成する

検索によって抽出したレコードのみからなるレイヤを作成します。検索終了後、「New Layer」ボ タンをクリックします。「Create New Layer」ダイアログが表示されるので、作成するレイヤ名を 決め「Create」ボタンをクリックするとプロジェクトビューに新しいレイヤが作成されます。

● 検索結果をリセットする

「Clear」ボタンをクリックしてください。

● 検索条件の保存

検索条件を保存するには、「Save」ボタンをクリックします。クリックするとファイル保存ダイア ログが表示されますので、ファイル名を入力して保存してください。

● 検索条件の読込み

保存された検索条件を読み込むには「Load」ボタンをクリックします。クリックするとファイル オープンダイアログが表示されますので、ファイル名を選択してください。

7.13. プロジェクトビュー:プロジェクトおよびレイヤの削除

プロジェクトおよびレイヤを削除します。対象となるプロジェクトあるいはレイヤを選択して、 マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニ ュー(図 7-10)から「Delete」メニューを選択するとレイヤ削除確認ダイアログ(図 7-48)が表 示されるので、「はい」ボタンを選択して下さい。

e Layer Project Tools H WorkSpace	
V Japan Ma	Selection ON/OFF Feature Edit
	Record View Search +
	Delete
^ -	
	A
	0 2000 km Selected Pange + .1.01.01700/00/0072010.12.01700/00/007
	-1 200 400 800 800 1000 1200 1400 1600 1800 2010

図 7-47 レイヤの削除

?	Delete	this lay	er?	
[1まい(Y) (いいえ(N)	

図 7-48 レイヤ削除確認ダイアログ

Note ローカルファイル上のプロジェクトおよびレイヤ情報は、削除されません。

7.14. プロジェクトビュー: レイヤのローカルファイル情報の表示

レイヤデータに関するファイル情報を表示します。対象となるレイヤを選択して、右クリックを するとポップアップメニュー(図 7-10)が表示されます。ポップアップメニューの「Properties」 メニューを選択すると、ローカルファイル情報ダイアログ(図 7-50、図 7-51)が表示されます。



図 7-49 レイヤのローカルファイル情報の表示

letadata Shapefile	Database	
ファイル名:	japan.tmm	
場所:	default	
サイズ:	3.84 KB (3935 バイト)	
更新日時:	Sat Jul 29 23:44:20 JST 2006	

図 7-50 ローカルファイル情報 (ラスターデータ以外の場合)

表 7-17 ローカルファイル情報 (ラスターデータ以外の場合)の説明

項番	項目	説明
1	Metadata タブ	メタファイルのファイル情報
2	ShapeFile タブ	シェープファイルのファイル情報
3	Database タブ	dbf ファイルのファイル情報
		CSV レイヤの場合はCSV ファイルのファイル情報
4	OK ボタン	ダイアログを閉じます。

Metadata ImageFil	e Database	
FileName :	KhonJiamGE12.tmm	
Location :	C:\Users\okumura\Desktop\KC	
File Size :	1.33 KB (1363 Bytes)	
Last Modified :	Tue Nov 10 10:13:25 JST 2009	

図 7-51 ローカルファイル情報 (ラスターデータの場合)

表 7-18 ローカルファイル情報 (ラスターデータの場合)の説明

項番	項目	説明
1	Metadata タブ	メタファイルのファイル情報
2	ImageFile タブ	ラスターファイルのファイル情報
3	Database タブ	特になし
4	OK ボタン	ダイアログを閉じます。

7.15. ツールバー:基本操作(選択・拡大・縮小・移動)

データビューにおける基本操作に、選択・拡大・縮小・移動があります。さらに全世界を表示す る全体表示、特定のレイヤを最大表示する指定レイヤ拡大もあります。

7.15.1. 矩形選択

データビューの矩形領域を選択します。ツールバーより矩形選択アイコン を選択します。選択されると矩形選択アイコンがエンボス表示されます。



図 7-52 ツールバー(矩形選択)

地図上で拡大したい矩形領域の北西端から南西端へカーソルをドラッグします(①)。矩形選択と なるレイヤが複数ある場合は、レイヤリスト(②)が表示されます。レイヤを選択すると属性表 示ダイアログ(『図 7-37 属性表示ダイアログ』)が表示されます。



図 7-53 領域の選択

Note 矩形選択の対象となるのは表示のレイヤ(『7.1』および『7.2』参照)です。非表示状態のレイヤは矩形選択の対象とはなりません。

Note 属性表示ダイアログの使い方は、『7.11.1 属性表示ダイアログ』を参照してください。

7.15.2. 表示サイズの拡大(ズームイン)

選択された領域をデータビューー杯に拡大表示します。ツールバーよりズームインアイコン 登選択します。選択されるとズームインアイコンがエンボス表示されます。



図 7-544 ツールバー (ズームイン)

地図上で拡大したい矩形領域の北西端から南西端へカーソルをドラッグします。選択された領域 がデータビューー杯に拡大表示されます。



図 7-555 表示サイズの拡大

Note ズームインするとデータビューから図形が表示されたり消えたりすることがあります。 これは「7.9.3Feature タブ」Layer タブで示した ZoomMax および ZoomMin の値 に応じて、一定の縮尺になると図形が表示状態になったり非表示状態になったりす るためです。

7.15.3. 表示サイズの縮小(ズームアウト)

ズームアウトします。ツールバーより、ズームアウトアイコン 🔍 を選択します。選択されると ズームアウトアイコンがエンボス表示されます。地図上でクリックした点を中心にズームアウし ます。ズームアウトする比率は2倍です。



図 7-577 表示サイズの縮小



Note ズームインするとデータビューから図形が表示されたり消えたりすることがあります。 これは「7.9.3Feature タブ」Layer タブで示した ZoomMax および ZoomMin の値 に応じて、一定の縮尺になると図形が表示状態になったり非表示状態になったりす るためです。

7.15.4. 表示サイズの移動 (パン)

地図を水平移動します。ツールバーよりパンアイコン 🕀 を選択します。選択されるとパンアイ コンがエンボス表示されます。



地図上の任意の場所から移動したい方向にドラックします。



図 7-59 表示サイズの移動

7.15.5. 全体表示(ズームアウトオール)

全世界を表示します。ツールバーよりズームアウトオールアイコン 🗳 を選択します。



図 7-60 ツールバー (ズームアウトオール)



図 7-61 全体表示

8.4522.-44.3

7.15.6. 指定レイヤ最大表示 (ズームレイヤ)

指定されたレイヤを最大表示します。



図 7-62 ツールバー (ズームレイヤ)

拡大したいレイヤをプロジェクトビューより選択し、ツールバーよりズームレイヤイコンと 選択します。指定されたレイヤをデータビュー一杯に表示します。





図 7-63 指定レイヤ拡大

7.15.7. アンドゥ

拡大・縮小・移動を取り消します。データビューの拡大・縮小・移動の操作を起動時から記録しています。ツールバーよりアンドゥアイコン △ をクリックするたびに、記録されている位置情報を以前の状態に戻ります。



図 7-64 ツールバー (アンドゥ)

7.16. ツールバー:アノテーション登録

任意のレイヤに複数のアノテーション情報を付加することが可能です。

7.16.1. アノテーション登録

ツールバーよりアノテーション登録アイコン[▲]を選択します。選択されるとアノテーション登録 アイコンがエンボス表示されます。



図 7-65 ツールバー (アノテーション登録)

アノテーションを付与したいレイヤをプロジェクトビューから選択します。次に、データビュー 上において、アノテーションを付加したい矩形領域の北西端から南西端へカーソルをドラッグし ます。領域を矩形選択すると、アノテーション編集ダイアログ(図 7-66)が表示されます。

Add Annotation Add Annotation Title:	内容入力欄
	画像表示欄
Image Upload Update Close	

図 7-66 アノテーション編集ダイアログ

項番	項目	説明
1	Layer	対象のレイヤを選択します
2	Title	タイトル入力します
3	Image Upload	画像のアップロード
4	Update	ボタンを押下することで追加・更新
5	Close	ダイアログを閉じる

表 7-19 アノテーション編集ダイアログの説明

● 操作方法

アノテーション情報は、タイトルと内容(テキスト)、画像1枚をセットとして入力できます。タ イトルや内容を入力して、「Update」ボタンをクリックすると登録されます。

内容(テキスト)は、「内容入力欄」に入力します。

画像を登録する場合は、アノテーション編集ダイアログ(図 7-66)の「Image Upload」ボタンを クリックします。ファイルオープンダイアログ(図 7-67)が表示されるので、登録したい画像を 選択し「開く」ボタンをクリックします。登録が終了すると画像表示部分に登録された画像が表 示されます。

開く 4回2 「同日本」 13-2		
参照: 11 ドキュメン	6	
9		
近使った項		
スクトップ		
+		
ンピュータ		
- ファイル名:		闌く
ットワーク ファイルタイプ	すべてのファイル	▼ 取消し

図 7-67 ファイルオープンダイアログ

Note ア

アノテーションが付加された領域の表示法は、『7.9.2 Feature タブ』(Annotation 参照)の設定に従います。

Note アノテーションの表示・非表示は、『7.9.2 Feature タブ』(Layer の Annotation Visible 参照)の設定に従います。

7.16.2. アノテーションのセーブ

アノテーションの保存には

- ・該当レイヤを保存する(『7.31 メニューバー:レイヤエクスポート』参照)
- ・該当レイヤを含むプロジェクトを保存する(『7.24 メニューバー:プロジェクトデータを別名で保存』 参照)
- ・状態を保存する(『7.277.27』参照)

の3つの方法があります。
7.17. ツールバー:アノテーション検索

任意のレイヤに付加されたアノテーション情報を検索します。 ツールバーよりアノテーション検索アイコンにを選択します。選択されるとアノテーション検索 アイコンがエンボス表示されます。

🛃 🚍 🔤 🕿 🖨

図 7-68 ツールバー (アノテーション検索)

データビュー上において、アノテーションを検索したい矩形領域の北西端から南西端へカーソル をドラッグします。その範囲にアノテーションがあれば、アノテーション一覧ダイアログ(図 7-69)が表示されます。

- Note アノテーションの表示・非表示は、『7.9.2 Feature タブ』(Layer の Annotation Visible 参照)の設定に従います。
- Note アノテーションはレイヤに付加された情報です。アノテーションが付加されているレイ ヤが非表示の場合(『7.1』および『7.2』参照)、アノテーションは表示されず、検索の 対象ともなりません。

アノテーションの選択

アノテーション一覧ダイアログにおいて、アノテーションをクリック(①) すると、その属性を もつ図形がハイライトで表示されます。『7.9.2 Feature タブ』(Annotation 参照)の設定



図 7-69 アノテーション一覧ダイアログ

● アノテーションの詳細表示

アノテーション一覧ダイアログ(図 7-69)において、表示したいアノテーションを選択(①)し、 「View」 ボタンをクリックします。アノテーション情報ダイアログ(図 7-70)が表示されます。

🛃 Annotation	X
Layer : Japan Map	•
Title テスト	
アノテーションの追加	
Edit	Close
	Close

図 7-70 アノテーション情報ダイアログ

● アノテーションの編集

アノテーション情報ダイアログ(図 7-70)の「Edit」ボタンをクリックするとアノテーション編 集ダイアログ(図 7-71)が表示されます。『7.16.1 アノテーション登録』と同じ操作でアノテーシ ョン情報を編集した後、「Update」ボタンをクリックしてください。

Add Annotation	X
Layer : Japan Map	*)
Title : テスト	
アノテーションの追加	
Image Upload	Update Close

図 7-71 アノテーション編集ダイアログ

● アノテーションの削除

アノテーション一覧ダイアログ(図 7-69)において、対象となるアノテーションを選択し、「Delete」 ボタンをクリックしてください。

🕌 Annotation List(Japan	Map)
Delete	View Quit
TITLE	CONTENT
テスト	アノテーションの追加

図 7-72 アノテーション情報の削除

7.18. ツールバー:距離計算

データビュー上において、任意の2点で指定される線分の距離を算出します。

7.18.1. 操作説明

ツールバーより距離計測アイコン¹⁰⁰⁰のアイコンを選択します。選択されると距離計測アイコンが エンボス表示されます。



図 7-73 ツールバー (距離計算)

データビュー上において、計測を開始する位置で左クリックを行います。次に終点の位置で再度 左クリックを行います。最後に右クリックすると距離計測結果ダイアログ(図 7-74)が表示され ます。

Unit : km			•	(Clipboard
Di	Close				
x1	y1	x2	y2	distance	distance(
42.887	36.3844	9.7043	-21.7834	7355.5308	7355.5308

図 7-74 距離計測結果ダイアログ

Note 左クリック2回で線分1つを指定します。右クリックをしないまま同じ操作を続けると、 複数の線分を指定することができます。ただし、これら線分は交差してはなりません

項番	項目	説明
1	Unit	表示単位を変更します。
2	Clipboard ボタン	計測結果をクリップボードに貼り付けます。
3	x1	線分の始点の X 値
4	y1	線分の始点の Y 値
5	x2	線分の終点の X 値
6	y2	線分の終点の Y 値
7	distance	線分(始点から終点まで)の距離
8	distance(acc)	線分の距離(累計)
9	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

表 7-20 距離計測結果ダイアログの説明

7.19. ツールバー:面積計算

データビュー上において、3点以上で指定される矩形の面積を算出します。ただし、矩形の各辺 が交差してはいけません。

7.19.1. 操作方法

ツールバーより面積計測アイコン を選択します。選択されると面積計測アイコンがエンボス表示されます。



図 7-75 ツールバー(面積計算)

データビュー上においてマウスポインタを移動させます。



最初の1点目を左クリックにより選択します。

② 2点目以降も同様に左クリックにより選択します。

- ③ 3点目以降において矩形を閉じる場合は右クリックします。すると計測ツールポップアップ (図 7-76)が表示されます。矩形を閉じるマウス操作は非常に難しいので、この計測ツール ポップアップから「Measure」を選択すると、最初の点と最後の点を自動的に結び、面積を計 算します。面積計測結果ダイアログ(図 7-77)が表示されます。ただし直線が交差する場合 は、エラーになります。
 - Note 点の選択中に面積計測を注意したい場合は、計測ツールポップアップ(図 7-76) から「Cancel」を選択します。右クリック後も点の選択を継続したい場合は、計測ツー ルポップアップから「Continue」を選択します。



図 7-76 計測ツールポップアップ

表 7-21 計測ツールポップアップの説明

項番	項目	説明
1	Measure	1 点目と最後の点を自動的に直線で結んで計算を行う
2	Continue	継続して、マウス操作により点をサンプルする場合に選択
3	Cancel	中断し、計測を終了します。

Unit km Clipboard Area : 1082606.001930127 [km*2] Close x1 y1 x2 y2 distance distance(140.2616 32.5072 143.5296 32.7583 307.622 307.622 143.5296 32.7583 142.1584 34.8815 268.2143 575.8364 142.1584 34.8815 140.2616 32.5072 317.3493 893.1857	🛓 Area M	easure				×
Area: 1082606.001930127 [km²2] Close x1 y1 x2 y2 distance distance(140.2616 32.5072 143.5296 32.7583 307.622 307.622 143.5296 32.7583 142.1584 34.8815 268.2143 575.8364 142.1584 34.8815 140.2616 32.5072 317.3493 893.1857	Unit km					Clipboard
x1 y1 x2 y2 distance distance(140.2616 32.5072 143.5296 32.7583 307.622 307.622 143.5296 32.7583 142.1584 34.8815 268.2143 575.8364 142.1584 34.8815 140.2616 32.5072 317.3493 893.1857	Area : 1082606.001930127 [km^2]				Close	
140.2616 32.5072 143.5296 32.7583 307.622 307.622 143.5296 32.7583 142.1584 34.8815 268.2143 575.8364 142.1584 34.8815 140.2616 32.5072 317.3493 893.1857	x1	y1	x2	y2	distance	distance(
143.5296 32.7583 142.1584 34.8815 268.2143 575.8364 142.1584 34.8815 140.2616 32.5072 317.3493 893.1857	140.2616	32.5072	143.5296	32.7583	307.622	307.622
142.1584 34.8815 140.2616 32.5072 317.3493 893.1857	143.5296	32.7583	142.1584	34.8815	268.2143	575.8364
	142.1584	34.8815	140.2616	32.5072	317.3493	893.1857

図 7-77 面積計測結果ダイアログ

項番	項目	説明
1	Unit	表示単位を変更します。
2	x1	線分の始点の X 値
3	y1	線分の始点の Y 値
4	x2	線分の終点の X 値
5	y2	線分の終点の Y 値
6	distance	線分(始点から終点まで)の距離
7	distance (acc)	線分の距離(累計)
8	Clipboard	計測結果を CSV 形式でクリップボードに貼り付
		けます。
9	Close	ダイアログを閉じます

表 7-22 面積計測結果ダイアログの説明

7.20. ツールバー: 重心計算

データビュー上において、任意の3点以上で指定される矩形の重心を算出します。ただし、矩形 の各辺が交差してはいけません。

7.20.1. 操作方法

ツールバーより面積計測アイコン[№]を選択します。選択されると重心計測アイコンがエンボス表示されます。



図 7-78 ツールバー(重心計算)

データビュー上においてマウスポインタを移動させます。



④ 最初の1点目を左クリックにより選択します。

⑤ 2点目以降も同様に左クリックにより選択します。

- ⑥ 3点目以降において矩形を閉じる場合は右クリックします。すると計測ツールポップアップ (図 7-79)が表示されます。矩形を閉じるマウス操作は非常に難しいので、計測ツールポッ プアップの「Measure」を選択すると、最初の点と最後の点を自動的に結び、重心を計算しま す。重心計測結果ダイアログ(図 7-80)が表示されます。ただし直線が交差する場合は、エ ラーになります。
 - Note 点の選択中に重心計測を注視したい場合は、計測ツールポップアップ(図 7-79) から「Cancel」を選択します。右クリック後も点の選択を継続したい場合は、計測ツールポップアップから「Continue」を選択します。



図 7-79 計測ツールポップアップ

表 7-23 計測ツールポップアップの説明

項番	項目	説明
1	Measure	1 点目と最後の点を自動的に直線で結んで計算を行う
2	Continue	継続して、マウス操作により点をサンプルする場合に選択
3	Cancel	中断し、計測を終了します。

Ver.1.3.0

Unit km			-		Clipboard
Grav	ity Point : (14	0.9396,34,973	1)		Close
x1	y1	x2	y2	distance	distance(
141.7013	33.4643	139.4618	33.1446	211.3752	211.3752
139.4618	33.1446	141.6556	35.6103	340.5108	551.886
41.6556	35.6103	141.7013	33.4643	238.9309	790.8168

図 7-80 重心計測結果ダイアログ

表 7-24 重心計測結果ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	Unit	表示単位を変更します。
2	x1	線分の始点の X 値
3	yl	線分の始点の Y 値
4	x2	線分の終点の X 値
5	y2	線分の終点の Y 値
6	distance	線分(始点から終点まで)の距離
7	distance (acc)	線分の距離(累計)
8	Clipboard	計測結果を CSV 形式でクリップボードに貼り付
		けます。
9	Close	ダイアログを閉じます

7.21. ツールバー:印刷

データビューを印刷します。ツールバーより、印刷アイコンを選択すると印刷プレビューダイ アログ(図 7-82)が表示されます。



図 7-82 印刷プレビューダイアログ

表 7-25 印刷フレビュータイアロ	クの説明
---------------------	------

項番	項目	説明
1	Print Scale チェックボックス	スケールを表示・印刷します。
2	Print TimeRange チェックボ	時間領域を表示・印刷します。
	ックス	
3	Print Legend チェックボック	チェックするとコロプレスの凡例を印刷します。
	ス	コロプレスデータがない場合はチェックできません。
4	Print ボタン	印刷を開始します。
5	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

印刷プレビューダイアログ(図 7-82)において、Print Option を選択し、「Print」ボタンをクリッ クします。次にページ設定ダイアログ(図 7-83)が表示されます。ページ設定を行い、「了解」 ボタンをクリックすると、印刷ダイアログ(図 7-84)が表示されますので、出力するプリンター や枚数を指定して、「印刷」ボタンをクリックしてください。



図 7-83 ページ設定ダイアログ

表 7-26 ページ設定ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	サイズ	用紙サイズを指定します。
2	用紙の向き	用紙の方向を設定します。
3	マージン	用紙のマージンを設定します。
4	了解ボタン	設定を反映し、印刷ダイアログを表示します。
5	取消しボタン	印刷を取消し、ダイアログを閉じます。

<u> 多</u> 印刷	X
→般(G) ページ設定(S) 外観(A)	
印刷サービス	
名前(N): PrimoPDF	▼ プロパティ(R)
状態: ジョブを受け付けています。	
タイプ:	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	📃 ファイルに出力(F)
日同時	印刷启降数
◎ すべて(L)	印刷部数(O): 1
◎ ページ(E) 1 印刷範囲 1	√丁合↓1(C)
	印刷 取消し

図 7-84 印刷ダイアログ

表 7-27 印刷プレビューダイアログの説明

項番	項目	説明
1	印刷サービス	出力先のプリンターを設定します。
2	印刷範囲	印刷するページ範囲を設定します。
3	印刷部数	印刷する枚数を設定します。
4	印刷ボタン	印刷を開始します。
5	取消しボタン	印刷を取消し、ダイアログを閉じます。

7.22. メニューバー: プロジェクトデータを新規作成

プロジェクトビュー上に新規にプロジェクトデータを作成します。メニューバーから「Project」 →「New」を選択します。

1	
New project name:	Jew Project1

図 7-85 プロジェクト新規作成ダイアログ

表 7-28 プロジェクト新規作成ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	New project name	新規プロジェクト名を入力します。
2	Create ボタン	プロジェクトデータを作成し、ダイアログを閉じ
		ます。
3	Cancel ボタン	中断し、ダイアログを閉じます。

新規作成されたプロジェクトデータが挿入されるプロジェクトビューの位置(つまりデータビュ ーに描写される順序)は以下の規則に従います。

- プロジェクトビュー上でアクティブなレイヤが指定されている場合、そのレイヤの下の 位置に挿入されます。
- プロジェクトビュー上でアクティブなプロジェクトが指定されている場合、そのプロジェクト内の最上位に挿入されます。
- ・ プロジェクトビュー上でプロジェクトもレイヤも指定されていない場合、WorkSpace の 直下に挿入されます。

7.23. メニューバー: プロジェクトデータを開く

GT-Map にプロジェクトデータを読み込みます。メニューバーから「Project」→「Open」を選択します。ファイル選択ダイアログから表示したい読み込みたいプロジェクトファイル(拡張子 tms または gts)を選択し、「開く」ボタンをクリックします(図 7-86)。

参昭	default		
(Am)	default tms		
見上に見った項目			
マクトップ			
(1) (± √)) h			
+1221			
コンピュータ			
	レーファイル名:	default.tms	開く
114			

図 7-86 プロジェクトファイルの選択

読み込まれたプロジェクトデータが挿入されるプロジェクトビューの位置(つまりデータビュー に描写される順序)は以下の規則に従います。

- プロジェクトビュー上でアクティブなレイヤが指定されている場合、そのレイヤの下の 位置に挿入されます。
- プロジェクトビュー上でアクティブなプロジェクトが指定されている場合、そのプロジェクト内の最上位に挿入されます。
- ・ プロジェクトビュー上でプロジェクトもレイヤも指定されていない場合、WorkSpace の 直下に挿入されます。

7.24. メニューバー: プロジェクトデータを別名で保存

指定したプロジェクトデータをローカルディスクに保存します。メニューバーから「File」→「Save <プロジェクト名> As」を選択します。<プロジェクト名>には、選択されたプロジェクト名が表 示されます。保存形式は、GT 形式(『4.1 GT 形式』参照)か TimeMap 形式(『4.2 TimeMap 形式』 参照)を選択することができます。

Note TimeMap 形式は古いデータとの互換性を考慮したものです。GT 形式による保存 を推奨します。

7.25. メニューバー: プロジェクトデータを削除

指定したプロジェクトデータを削除します。プロジェクトビューにおいて、削除したいプロジェ クを選択して、メニューバーから「Project」→「Delete <プロジェクト名>」を選択します。<プロ ジェクト名>には、選択されたプロジェクト名が表示されます。削除の最終確認ダイアログ(図 7-87)が表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。



図 7-87 プロジェクト削除確認ダイアログ

Note ローカルファイル上のプロジェクトデータは、削除されません。

7.26. メニューバー:プロジェクトデータのプロパティ

7.27. メニューバー:状態セーブ

現在の GT-Map の状態を保存できます。保存されたデータを呼び出すことで再度同じ状態から操作することができます。メニューバーから「File」→「Save Status」を選択します。

Note 状態セーブの場合、検索等の過程で一時的に作られたレイヤおよび作成されても (『7.22』)保存されていないプロジェクト(『7.24』)も保存します。ただし、これらはユ ーザ領域には保存されません。必要なレイヤ(『7.31 メニューバー:レイヤエクスポー ト』)やプロジェクト(『7.24』)はそれぞれの方法でユーザ領域に保存してください。

7.28. メニューバー:状態の復元

保存された状態を読込んで以前の状態を復元します。メニューバーから「File」→「Load Status」 を選択します。

7.29. メニューバー:終了

GT-Map を終了します。メニューバーから「File」→「Exit」を選択します。

Note 検索等の過程で一時的に作られたレイヤおよび作成されても(『7.22』)保存されて いないプロジェクト(『7.24』)については、レイヤの保存(『7.31 メニューバー:レイヤ エクスポート』)、プロジェクトの保存(『7.24』)あるいは状態セーブ(『7.27』)を行わな い場合、それらのデータは消去されます。

7.30. メニューバー: レイヤインポート

レイヤデータを GT-Map に読込みます。メニューバーから「Layer」→「Layer Import」を選択する とレイヤインポートダイアログ(図 7-88)が表示されます。読込むデータのファイルタイプを、 GT 形式(『4.1 GT 形式』参照)あるいは TimeMap 形式(『4.2 TimeMap 形式』参照)から選択し、 「開く」ボタンをクリックしてください。

Ø 開く			3
参照: 📗 ドキュメン		• 🔌 🗵 🗖	
最近使った項 目			
デスクトップ			
ドキュメント			
▲ コンピュータ			
ション ファイル名:		開く	
ネットワーク ファイルタイプ:	TimeMap Meta File	▼ 取消し	

図 7-88 レイヤインポートダイアログ

読み込まれたレイヤデータが挿入されるプロジェクトビューの位置(つまりデータビューに描写 される順序)は以下の規則に従います。

- プロジェクトビュー上でアクティブなレイヤが指定されている場合、そのレイヤの下の 位置に挿入されます。
- プロジェクトビュー上でアクティブなプロジェクトが指定されている場合、そのプロジェクト内の最上位に挿入されます。
- ・ プロジェクトビュー上でプロジェクトもレイヤも指定されていない場合、WorkSpace の 直下に挿入されます。

7.31. メニューバー: レイヤエクスポート

指定したレイヤデータをローカルディスクに保存します。プロジェクトビューにおいて、保存したいレイヤをクリックします。次に、メニューバーから「Layer」→「Layer Export」を選択するとレイヤエクスポートダイアログ(図 7-90)が表示されます。最初に保存形式を GT 形式(『4.1 GT 形式』参照) あるいは TimeMap 形式(『4.2 TimeMap 形式』参照) から選択し、「Next」ボタンをクリックします。

Layer Export		×
	TMM	
	O GTM	
Cancel	Back	Next

図 7-89 レイヤエクスポートダイアログ(保存形式指定)

次に、ローカルディスクの保存先を指定します。図 7-90 において「Change Directory」ボタンを クリックして保存先のフォルダを指定して、「Next」ボタンをクリックします。

6 Layer Export	×
Director	y: D: Change Directory
Cancel	Back

図 7-90 レイヤエクスポートダイアログ(保存先指定)

参照:	🕞 ローカル ディ	スク (D:)	• 00	
(近使った項				
スクトップ				
(キュメント				
ンピュータ				
🦉 🗄	ファイル名:	D:\		Select
ミトローク		1		

図 7-91 保存先指定ダイアログ

保存するファイル名を設定するダイアログが表示されますので、ファイル名を入力して「Next」 ボタンをクリックしてください。確認ダイアログ(図 7-93)が表示されますので、「Complete」 ボタンをクリックするとレイヤがローカルディスクに保存されます。



図 7-92 保存ファイル名指定ダイアログ

Ø Layer Export	X	
Directory: D:\ FileName : japan 	* III +	
Cancel	Back Complete	5

図 7-93 レイヤエクスポート(確認ダイアログ)

7.32. メニューバー:レイヤ削除

プロジェクトビューおよびデータビューからレイヤを削除します。プロジェクトビューにおいて、 削除したいレイヤを選択して、メニューバーから「Layer」→「Delete "<レイヤ名>"」を選択しま す。<レイヤ名>には、選択されたレイヤ名が表示されます。削除の最終確認ダイアログ(図 7-48) が表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。

7.33. メニューバー:検索

検索によるレコードの絞り込みと、その地図表示を行います。レコード検索には、簡易検索 (Simple Search) と詳細検索 (SQL Search) があります。簡易検索は「Layer」→「Search」→「Simple Search」 を選択します。操作法は『7.12.1 簡易検索』と同じです。詳細検索は「Layer」→「Search」→「SQL Search」を選択します。操作法は『7.12.2 詳細検索』と同じです。

7.34. メニューバー:レイヤ間演算(ディゾルブ)

同一レイヤにおいて、同じ属性値を持つフィーチャを一つにまとめたレイヤを作成します。新し いレイヤは、該当レイヤを含むプロジェクトの最上に作成されます。その際、属性データの演算 (最大値/最小値、平均、合計、加算平均、中央値、最頻値、範囲、標準偏差、最初の値、最後 の値)を行うことができます。

7.34.1. ディゾルブ演算ダイアログ

メニューバーから「Layer」→「Operation」→「Dissolve」を選択するとディゾルブ演算ダイアロ グ(図 7-94) が表示されます。

Layer	Japan Map			•
Field	FLAG CITY1 JCODE PREF CITY2 TOWN 県市区町村 人口			* H +
Static(Op	tion)			
	Command	Field	-	+
Condition				-)

図 7-94 ディゾルブ演算ダイアログ

項番	機能	説明
1	Layer	対象のレイヤ
2	Field	集計対象のフィールド
3	Condition	演算データリスト
		追加された演算データを表示します。
4	+ボタン	演算データを追加します。
5	ーボタン	演算データを削除します。
6	OK ボタン	レイヤ間演算を実行して新規レイヤを作成します。
7	Close ボタン	ダイアログを閉じます

表 7-29 ディゾルブ演算ダイアログの説明

7.34.2. 操作説明

ディゾルブ演算ダイアログにおいて、集計対象のフィールドを選択します。

演算を行う場合は、ディゾルブ演算ダイアログの「+」ボタンをクリックすると、コンディショ ン編集ダイアログ(図 7-96)が表示されます。コンディション編集ダイアログにて、演算を行う フィールドと演算方法を指定して、「OK」ボタンをクリックします。最後に、ディゾルブ演算ダ イアログの「OK」ボタンをクリックしてください。演算が終了すると新しいレイヤ名を設定す る 新規レイヤ作成ダイアログ(図 7-95)が表示されますので、新しいレイヤ名を入力して「O K」ボタンをクリックしてください。新しいレイヤは、該当のレイヤを含むプロジェクト階層の 上位に作成されます。



図 7-95 新規レイヤ作成ダイアログ

Condition	MAX
Field	
1010	2

図 7-96 コンディション編集ダイアログ

表 7-30 コンディション編集ダイアログの説明

項番	機能	説明
1	Condition	演算方法を設定します。
2	Field	対象となるフィールドを設定します。
3	OK ボタン	変更を有効にしてダイアログを閉じます。
4	Cancel ボタン	ダイアログを閉じます。

表 7-31 演算方法

項番	機能	説明
1	MAX	最大値
2	MIN	最小值
3	AVERAGE	平均
4	SUM	合計
5	MEDIAN	中央値
6	MODE	最頻値
7	RANGE	範囲
8	STANDARD DEVIATION	標準偏差
9	First Value	最初の値
10	Last Value	最後の値

7.35. メニューバー:レイヤ間演算(アペンド)

異なるレイヤのフィーチャを結合したレイヤを作成します。新しいレイヤは、該当のレイヤを含 むプロジェクトの最上位に作成されます。ただし、アペンドするレイヤ同士の形式は同じでなけ ればなりません。

7.35.1. 画面構成



図 7-97 アペンド演算ダイアログ

表 7-32 アペンド演算ダイアログの説明

項番	機能	説明
1	Input Layer_1	重ねるレイヤ
2	Input Layer_2	重ねられるレイヤ
3	OK ボタン	レイヤ間演算を実行して新規レイヤを作成します。
4	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

7.35.2. 操作説明

メニューバーから「Layer」→「Operation」→「Merge (Append)」を選択するとアペンド演算ダイ アログ (図 7-98) が表示されます。アペンドするレイヤを Input Layer_1 と Input Layer_2 に設定 した後、「OK」ボタンをクリックしてください。演算が終了すると新しいレイヤ名を設定する 新 規レイヤ作成ダイアログ (図 7-98) が表示されますので、新しいレイヤ名を入力して「OK」ボ タンをクリックしてください。新しいレイヤは、重ねるレイヤを含むプロジェクト階層の上位に 作成されます。

reate New Layer		×
New layer name: New	/ Layer1	
	Create	Cancel

図 7-98 新規レイヤ作成ダイアログ

7.36. メニューバー:レイヤ間演算(ユニオン)

異なるレイヤのフィーチャを対象として、両方の情報を併せ持つレイヤを作成します。新しいレ イヤは、該当のレイヤを含むプロジェクトの最上位に作成されます。ただし、両方のレイヤは、 多角形図形でなければなりません。

7.36.1. ユニオン演算ダイアログ



図 7-99 ユニオン演算ダイアログ

表 7-33 ユニオン演算ダイアログの説明

項番	機能	説明
1	Input Layer_1	結合元のレイヤ
2	Input Layer_2	結合するレイヤ
3	OK ボタン	レイヤ間演算を実行して新規レイヤを作成します。
4	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

7.36.2. 操作説明

メニューバーから「Layer」→「Operation」→「Union」を選択するとユニオン演算ダイアログ(図 7-99)が表示されます。結合するレイヤを Input Layer_1 と Input Layer_2 に設定した後、「OK」 ボタンをクリックしてください。演算が終了すると新しいレイヤ名を設定する 新規レイヤ作成ダ イアログ(図 7-100)が表示されますので、新しいレイヤ名を入力して「OK」ボタンをクリッ クしてください。新しいレイヤは、結合元のレイヤを含むプロジェクト階層の上位に作成されま す。

reate New Layer		(
New layer name: New	/ Layer1	
	Create	Cancel

図 7-100 新規レイヤ作成ダイアログ

7.37. メニューバー:レイヤ間演算(インターセプト)

異なるレイヤのフィーチャを対象として、フィーチャが重なり合う部分の情報を持つレイヤを作 成します。新しいレイヤは、該当のレイヤを含むプロジェクトの最上位に作成されます。

7.37.1. インターセプト演算ダイアログ

Input Layer_1	Japan Map	-
Input Layer_2	World Map	
	ОК	Close

図 7-101 インターセプト演算ダイアログ

表 7-34 インターセプト演算ダイアログの説明

項番	機能	説明
1	Input Layer_1	結合元のレイヤ
2	Input Layer_2	結合するレイヤ
3	OK ボタン	レイヤ間演算を実行して新規レイヤを作成します。
4	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

7.37.2. 操作説明

メニューバーから「Layer」→「Operation」→「Intersect」を選択するとインターセプト演算ダイ アログ(図 7-101)が表示されます。結合するレイヤを Input Layer_1 と Input Layer_2 に設定し た後、「OK」ボタンをクリックしてください。演算が終了すると新しいレイヤ名を設定する新規 レイヤ作成ダイアログ(図 7-102)が表示されますので、新しいレイヤ名を入力して「OK」ボ タンをクリックしてください。新しいレイヤは、結合元のレイヤを含むプロジェクト階層の上位 に作成されます。

reate New Layer		
New layer name: Nev	v Layer 1	
	Create	Cancel

図 7-102 新規レイヤ作成ダイアログ

7.38. メニューバー:レイヤ間演算(バッファ)

図形の輪郭から指定した距離を持った範囲を新しい図形とします。新しいレイヤは、該当のレイ ヤを含むプロジェクトの最上位に作成されます。

7.38.1. バッファ演算ダイアログ

Buffered Layer	Japan Map
Buffer Size	0.0
Size Units	km

図 7-103 バッファ演算ダイアログ

表 7-35 バッファ演算ダイアログの説明

項番	機能	説明
1	Buffered Layer	バッファを作成するレイヤ
2	Buffer Size	バッファのサイズ (半径)
3	Size Unit	バッファのサイズの単位
4	OK ボタン	レイヤ間演算を実行して新規レイヤを作成します。
5	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

7.38.2. 操作説明

メニューバーから「Layer」→「Operation」→「Buffering」を選択するとバッファ演算ダイアログ (図 7-103) が表示されます。バッファ操作の対象となるレイヤとバッファサイズおよびその単 位を指定して「OK」ボタンをクリックしてください。演算が終了すると新しいレイヤ名を設定 する新規レイヤ作成ダイアログ(図 7-104) が表示されますので、新しいレイヤ名を入力して「O K」ボタンをクリックしてください。新しいレイヤは、対象となるレイヤを含むプロジェクト階 層の上位に作成されます。

New layer name: Nev	w Layer1	
	- C	-

図 7-104 新規レイヤ作成ダイアログ

7.39. メニューバー:レイヤ間演算(クリップ)

ー方のレイヤのフィーチャを型紙のように利用して、別のレイヤのフィーチャを切り抜き新しい フィーチャを作成します。新しいレイヤは、該当レイヤを含むプロジェクトの最上位に作成され ます。

7.39.1. クリップ演算ダイアログ

Clipped Layer	Japan Map 🗸 🗸
Mask Layer	Japan Map 👻
Buffer Size	0.0
Size Units	km 👻

図 7-105 クリップ演算ダイアログ

表 7-36 クリップ演算ダイアログの説明

項番	機能	説明
1	Clipped Layer	クリップされるレイヤ
2	Mask Layer	重なるレイヤ
3	Buffer Size	重なるレイヤのバッファのサイズ(半径)
4	Size Unit	バッファのサイズの単位
5	OK ボタン	レイヤ間演算を実行して新規レイヤを作成します。
6	Close ボタン	ダイアログを閉じます。
7.39.2. 操作説明

メニューバーから「Layer」→「Operation」→「Clipping」を選択するとクリップ演算ダイアログ (図 7-105) が表示されます。バッファ操作の対象となるレイヤとバッファサイズおよびその単 位を指定して、「OK」ボタンをクリックしてください。演算が終了すると新しいレイヤ名を設定 する新規レイヤ作成ダイアログ(図 7-106) が表示されますので、新しいレイヤ名を入力して「O K」ボタンをクリックしてください。新しいレイヤは、クリップされるレイヤを含むプロジェク ト階層の上位に作成されます。

reate New Layer		
New layer name: New	v Layer1	
	Create	Cancel

図 7-106 新規レイヤ作成ダイアログ

7.40. メニューバー:時間範囲のアニメーション

データビュー上で時間変化をアニメーション表示するときに使用します。メニューバーの「Tools」 →「TimeLine Player」を選択するとタイムラインプレイヤダイアログ (図 7-107) が表示されま す。

7.40.1. タイムラインプレイヤダイアログ

🛓 TimeLir	e Player								• X
Selected F	Range: -1	-01-01T	00:00:0	00Z ~ 2	010-12	-31T00:	:00:00Z	1000	2010
-1 20 1 20	0 400	000 800	000 000	1000	1200	1400	1600	1900	2010
1-01-01	10 400	•	000	1000		1400	2010	-08-02	
	l	<u> </u>							
Start	-1-01-011	00:00:00)	Sto	op 	2010)-12-31	T00:00:	00
Bounds	Forward	•		Int	ep detai	i rear ≈1 5.00	• ▼		
Dodings	ronnara					5] <u>5,60</u>			
		•			M				
									Close

図 7-107 タイムラインプレイヤダイアログ

項番	アイコン	機能	説明
(a)		タイムスライダ	現在選択中の時間範囲を表します。
(b)		Start	アニメーションの下限時間
(c)		Stop	アニメーションの上限時間
(d)		Step	アニメーションを1画面進める際の増分
(e)		Step detail	アニメーションを1画面進める際の増分の単位
			Year:年、Month:月、Day:日、Hour:時間
(f)		Bounds	アニメーションの画面遷移の方法
			※操作説明を参照
(g)		Interval	アニメーションの画面遷移の時間間隔
(h)	4	Rewind	アニメーションの画面遷移を最初の状態に戻します。
(i)	М	Back	アニメーションの画面遷移の逆送り
(j)	M	Forward	アニメーションの画面遷移の早送り
(k)	Þ	Play	アニメーションの画面遷移を開始します
(1)		Close	ダイアログを閉じます。

表 7-37 タイムラインプレイヤダイアログの説明

7.40.2. 操作説明

例として、820年から880年の画面遷移をアニメーション動作させる場合を、アニメーションの 画面遷移方法に応じて説明します。

● 開始時間のみを変化するアニメーション (Start 動作)

🛓 TimeLine Player		
Selected Range : 820-0	1-01T00:00:00Z ~ 880-01-	-01T00:00:00Z
800 123 030 033	040 043 040 043 0 10 8 0 0 900 920	940 960 980 1000
▲ 800-01-01	リセット	◀ 1000-12-31 ▶
Start 820-01-01T00	:00:00 Stop	880-01-01T00:00:00
Step 10	Step detail	Year 👻
Bounds Start 👻	Interval[ms] þ,000 ‡
	H H	
		Close
L	$\overline{\nabla}$,
🛓 TimeLine Player	· ·	
Selected Range : 830-0 830 835 840 84	1-01T00:00:00Z ~ 880-01- L5 850 855 860	-01T00:00:00Z
		940 960 980 1000
▲ 800-01-01	リセット	◀ 1000-12-31 ▶
Start 830-01-01T00	:00:00 Stop	880-01-01T00:00:00
Step 10	Step detail	Year 👻
Bounds Start -	Interval[ms] 5,000 ≑
	H H	
		Close
	\checkmark	
🛓 TimeLine Player	~ ~	
Selected Range: 870-0	1-01T00:00:00Z ~ 880-01-	-01T00:00:00Z
		940 900 980 1000
€ 800-01-01	リセット	▲ 1000-12-31
Start 870-01-01T00	:00:00 Stop	880-01-01T00:00:00
Step 10	Step detail	Year 👻
Bounds Start 👻	Interval[ms] 5,000 ≑
		Close

Bounds のコンボボックスを「Start」と選 択して、Play ボタンをクリックします。 アニメーションの時間範囲の開始時間だけ が移動します。

図 7-108 開始時間のみを変化するアニメーション (Start 動作)

● 終了時間のみを変化するアニメーション(End 動作)

🕌 TimeLine Player
Selected Range: 820-12-31T23:59:59Z ~ 880-01-01T00:00:00Z
4 800-01-01 ▶ Utz v ト 4 1000-12-31 ▶
Start 820-12-31T23:59:59 Stop 880-01-01T00:00:00
Step 10 Step detail Year -
Bounds End Interval[ms] 5,000
Close
$\overline{\langle}$
TimeLine Player
Selected Range: 820-12-31T23:59:59Z ~ 870-01-01T00:00:00Z
820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870
800 800 840 860 880 900 920 940 960 980 1000
4 800-01-01 ▶ Utz → ▶ 4 1000-12-31 ▶
Start 820-12-31T23:59:59 Stop 870-01-01T00:00:00
Step detail Year -
Bounds End Interval[ms] 5,000
Close
$\overline{\nabla}$
🛃 TimeLine Player
Selected Range : 820-12-31T23:59:59Z ~ 830-01-01T00:00:00Z 820 822 823 824 825 826 827 828 829 830
800 820 840 860 880 900 920 940 960 980 1000
■ 800-01-01
Start 820-12-31T23:59:59 Stop 830-01-01T00:00:00
Step 10 Step detail Year 👻
Bounds End Interval[ms] 5,000
Close

Bounds のコンボボックスを「End」と選択 して、Play ボタンをクリックします。 アニメーションの時間範囲の終了時間だけ が移動します。

図 7-109 終了時間のみを変化するアニメーション (End 動作)

7.40.3. 指定された時間範囲が変化するアニメーション (Forward 動作)

🛓 TimeLin	🔬 TimeLine Player			
Selected F	Range: 820-01-01T00:00:00Z ~ 829-12-31T12:00:00Z			
820 82	21 822 823 824 825 826 827 828	829 829		
800 8	20 840 860 880 900 920 940 960 .	980 1000		
▲ 800-01-	01 Vセット (1000-	12-31		
Start	820-01-01T00:00:00 Stop 830-01-01T0	0:00:00		
Step	10 Step detail Year 👻			
Bounds	Forward - Interval[ms] 5,000			
		Close		
	$\overline{\nabla}$			
🛓 TimeLin	e Player			
Selected P	Range: 829-12-31T12:00:00Z ~ 840-01-01T00:00:00Z	020 040		
049 8	21 032 033 034 039 030 837 838	033 040		
800 87	20 840 860 880 900 920 940 960	980 1000		
1 800-01-	01 🕨 U코ット 🖣 1000-	12-31		
Start	820-01-01T00:00:00 Stop 830-01-01T0	0:00:00		
Step	10 Step detail Year 👻			
Bounds	Forward - Interval[ms] 5,000			
		Close		
	$\overline{\nabla}$			
🛓 TimeLin	e Player			
Selected F	Range: 949-12-31T12:00:00Z ~ 960-01-01T00:00:00Z			
949 96	51 952 953 954 955 956 957 958	959 960		
800 82	20 840 860 880 900 920 940 90	980 1000		
800-01-	01 レセット (1000-1	12-31		
Start	820-01-01T00:00:00 Stop 830-01-01T0	0:00:00		
Step	10 Step detail Year -			
Bounds	Forward Interval[ms] 5,000			
		Close		

Bounds のコンボボックスを「Foward」と 選択して、Play ボタンをクリックします。

図 7-110 指定された時間範囲が変化するアニメーション (Forward 動作)

7.40.4. 指定された時間範囲が変化するアニメーション(Reverse 動作)

🛓 TimeLin	e Player				
Selected F	≀ange: 949-12-31	T12:00:00Z	~ 960-01-	01T00:00:00Z	
949 95	1 952 953	954 955	956	957 958	959 960
800 82	0 840 860	880 900	920	940 960	980 1000
4 800-01-0)1	リセッ	۲	1000-	12-31
Start	820-01-01T00:00:	00 S	stop	830-01-01T0	0:00:00
Step	10	s	Step detail	Year 👻	
Bounds	Forward 👻	Ir	nterval[ms]	5,000 ≑	
					
					Close
		$\overline{\langle}$	٦		
🛓 TimeLin	e Player				
Selected F	{ange: 829-12-31	T12:00:00Z	~ 840-01-	01T00:00:00Z	
829 83	1 832 833	834 835	i 836	837 838	839 840
800 82	10 <mark>1</mark> 840 860 .	880 900	. 920	940 960	980 1000
€ 800-01-0)1	リセッ	ŀ	1 000-	12-31
Start	820-01-01T00:00:	00 s	Stop	830-01-01T0	0:00:00
Step	10	s	step detail	Year 👻	
Bounds	Forward -	Ir	nterval[ms]	5,000 ≑	
					Close
<u>.</u>		$\overline{\langle}$	ጉ		
🛓 TimeLin	e Player				
Selected F	lange: 820-01-01	T00:00:00Z	~ 829-12-	31T12:00:00Z	
820 82	.1 822 823	824 825	826	827 828	829 829
800	840 860	880 900	920	940 960	980 1000
€ 800-01-0)1	リセッ	٢	1 000-	12-31
Start	820-01-01T00:00:	00 S	Stop	830-01-01T0	0:00:00
Step	10	s	Step detail	Year 👻	
Bounds	Forward 👻	Ir	nterval[ms]	5,000 ≑	
	•				
					Close
					Close

Bounds のコンボボックスを「Reverse」と 選択して、Play ボタンをクリックします。

図 7-111 指定された時間範囲が変化するアニメーション (Reverse 動作)

7.41. メニューバー: 10 進数表示⇔60 進数表示変換ツール

緯度経度の 10 進数表記と 60 進数表記の相互変換を行うツールです。 メニューバーの「Tools」 → 「Lon/Lat Conversion Tools 」を選択するとダイアログ(図 7-112)が 表示されます。

7.41.1.10 進数⇔60 進数変換ダイアログ



図 7-112 10 進数⇔60 進数変換ダイアログ

表 7-38 10 進数⇔60 進数変換ダイアログの説明

項番	機能	説明		
(a)	60 進数表示入力	緯度経度の60	緯度経度の60進数表示します。	
		DMS→Degree	の場合、60進数を入力します。	
		Degree→DMS	の場合、変換された16進数が表示	
(b)	10 進数表示入力	緯度経度の10	進数表示します。	
		DMS→Degree	の場合、10進数を入力します。	
		Degree→DMS	の場合、変換された10進数が表示します。	
(c)	変換方法	DMS→Degree	60 進数表示を 10 進数表示に変換します。	
		Degree→DMS	10 進数表示を 60 進数表示に変換します。	

● 操作方法(60進数→10進数変換)

 変換方法を「DMS→Degree」を選択して、図 7-112 の(a) に変換する緯度・経度を入力して
 ください。

② 「Convert」ボタンをクリックすると、図 7-112 の(b) に変換された数値が表示されます。

操作方法(10進数→60進数変換)

① 変換方法を「Degree→DMS」を選択して、図 7-112 の (b) に変換する緯度・経度を入力して ください。

② 「Convert」ボタンをクリックすると、図 7-112 の(a) に変換された数値が表示されます。

7.42. メニューバー: GPS トラッキング

GPS の出力フォーマットである NMEA-0183 形式のデータから Shape ファイルに変換します。 メニューバーの「Layer」→「GPS Tracking」を選択するとダイアログ(図 7-113) が表示されます

NMEA-0183 形式の GAA コードから緯度経度を取得して、RMC コードもしくは ZDA コードより日時を取得して、Shape ファイルに変換します。

7.42.1. GPS トラッキングダイアログ

GPS Format	NMEA-0183	•
File		Reference
Dutput		Reference

図 7-113 GPSトラッキングダイアログ

項番	項目	説明
1	GPS Format	指定される GPS データのフォーマットを選択
2	File	GPS データファイル
3	Output	出力する Shape ファイル
4	Reference	ファイル選択(保存)ダイアログを表示
5	Create	Shape ファイルを作成して、ダイアログを閉じます
6	Close	ダイアログを閉じます

表 7-39 GPSトラッキングダイアログの説明

● 操作方法



① GPS フォーマットを選択します。

※ NMEA-0183 フォーマットしか選択できません。

- ② ファイル選択ダイアログを開き、GPS データ(テキスト)ファイルを選択します。
- ③ ファイル保存ダイアログを開き、Shape ファイルの保存先のフォルダ・ファイル名を指定し ます。
- ④ Create ボタンを押下すると指定されたファイル名で Shape ファイルが生成されます。

7.43. メニューバー:機能設定

GT-Mapの機能に関する設定を行います。

メニューバーから「Project」 \rightarrow 「Preference」を選択します。

7.43.1. 機能設定ダイアログ

Prefere	ence		×
Basic	Basic		
		Language Select language: en 🗸	
		User Info user name:	
		password :	
(a)		(b)	
		ОК	Close

図 7-115 機能設定ダイアログ

表 7-40 機能設定イアログの説明

項番	項目	説明
(a)	メニュー	設定できる機能をメニューで表示します。
(b)	機能設定画面	設定項目を表示します。
(c)	OK ボタン	変更を有効にしてダイアログを閉じます。
(d)	Close ボタン	ダイアログを閉じます。

● Basic 設定一言語指定

GT-Map の表示言語を変更します。Select language のコンボボックスを選択して表示したい言語 を指定します。

Prefere	nce
Basic	Basic Language Select language: en User Info user name: password :
	Q OK Close

図 7-116 機能設定ダイアログ (Basic 設定)

Note 表示言語の変更は、GT-Map を再起動した際に反映されます。

● Basic 設定-ユーザ情報設定

ユーザ名とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックします。

Prefere	ence					X
Basic	Basic	Language Se User Info user name: password :	elect language	en		
					ОК	Close

図 7-117 機能設定ダイアログ (Basic 設定)

Note ユーザ情報は、サーバとの連携時に用いる情報です。 現状では、将来的な機能のため使用しません。

8. 付録

7.44. NMEA-0183 フォーマット

引用 URL: http://bg66.soc.i.kyoto-u.ac.jp/forestgps/nmea.html

7.44.1. GGA - Global Positioning System Fix Data

GGA, 123519.00, 4807.038247, N, 01131.324523, E, 1, 08, 0.9, 545.42, M, 46.93, M, 5.0, 1012*42

項番	データ	概要	
1	123519.00	測位時刻(UTC) 12:35:19.00	
2	4807.038247,N	緯度 48度 07.038247分(北緯)	
3	01131.324523,E	経度 11度 31.324523 分(東経)	
4	1	GPS のクオリティ;	
		0 = 受信不能, 1 = 単独測位, 2 = DGPS	
5	08	受信衛星数	
6	0.9	HDOP	
7	545.42, M	平均海水面からのアンテナ高度 (m)	
8	46.93, M	WGS-84 楕円体から平均海水面の高度差(m)	
9	5.0	DGPS データのエイジ (秒)	
10	1012	DGPS 基準局の ID	
11	*42	チェックサム	

表 8-1 GGA データ仕様

7.44.2. GLL - Geographic Position, Latitude and Longitude

GLL,4916.452349,N,12311.123215,W,225444.00,A,A*6A

項番	データ	概要
1	4916.452349,N	緯度 49度16.452349分(北緯)
2	12311.123215,W	経度 123 度 11.123215 分 (西経)
3	225444.00	測位時刻(UTC) 22:54:44.00
4	А	ステータス;A= 有効,V= 無効
5	А	モード;A= 単独測位,D=DGPS,N= 無効
6	*6A	チェックサム

表 8-2 GLL データ仕様

7.44.3. GSA - GNSS DOP and Active Satellites

GSA,A,3,04,05,,09,12,,,24,,,,,2.5,1.3,2.1*39

表 8-3 GSA データ仕様

項番	データ	概要
1	А	測位モード;A=2D/3D自動選択,M=2D/3D手動選択
2	3	モード;1=受信不能,2=2D,3=3D
3	04,05,,09,12,,,24,,,,	受信衛星数
4	2.5	PDOP
5	1.3	HDOP
6	2.1	VDOP
7	*39	チェックサム

GSV,2,1,08,01,40,083,46,02,17,308,41,12,07,344,39,14,22,228,45*75

項番	データ	概要
1	2	全メッセージ数
2	1	メッセージ番号
3	08	受信可能衛星数
4	01,40,083,46	01 = 衛星番号, 40 = 仰角 (度), 083 = 方位 (度), 46 = SNR
		(デシベル)
5	02,17,308,41	02 = 衛星番号, 17 = 仰角 (度), 308 = 方位 (度), 41 = SNR
		(デシベル)
6	12,07,344,39	12= 衛星番号, 07= 仰角 (度), 344= 方位 (度), 39=SNR
		(デシベル)
7	14,22,228,45	14 = 衛星番号, 22 = 仰角 (度), 228 = 方位 (度), 45 = SNR
		(デシベル)
8	*75	チェックサム

表 8-4 GSV データ仕様

7.44.5. RMC - Recommended Minimum Specific GNSS Data

RMC,225446.00,A,4916.452653,N,12311.123747,W,000.5,054.7,191194,06.2,W,A*68

項番	データ	概要
1	225446.00	測位時刻(UTC) 22:54:46.00
2	А	ステータス;A= 有効, V= 無効
3	4916.452653,N	緯度 49度 16.452653分(北緯)
4	12311.123747,W	経度 123度 11.123747分 (西経)
5	000.5	対地速度(ノット) 0.5 ノット
6	054.7	進行方向(度, 真北) 54.7 度
7	191194	日付(UTC) 1994年11月19日
8	06.2,W	地磁気の偏角 6.2 度西
9	А	モード;A= 単独測位, D=DGPS, N= 無効
10	*68	チェックサム

表 8-5 RMC データ仕様

7.44.6. VTG - Course Over Ground and Ground Speed

VTG,010.0,T,016.5,M,002.5,N,004.8,K,A*4D

表 8-6 VTG データ仕様

項番	データ	概要
1	010.0,T	真北に対する進行方向(度)
2	016.5,M	磁北に対する進行方向 (度)
3	002.5,N	対地速度(ノット)
4	004.8,K	対地速度(km/h)
5	А	モード;A= 単独測位,D=DGPS,N= 無効
6	*4D	チェックサム

7.44.7. ZDA - Time & Date

ZDA,052608.22,06,05,2001,14,26*3D

項番	データ	概要
1	052608.22	測位時刻(UTC) 05:26:08.22
2	06	日 (UTC) 6 日
3	05	月 (UTC) 5 月
4	2001	西暦 (UTC) 2001 年
5	14	時(現地時間) 14時
6	26	分(現地時間) 26分
7	*3D	チェックサム

表 8-7 ZDA データ仕様

7.44.8. サンプルデータ

\$GPGGA.021803.751.3501.5666.N.13546.9457.E.1.08.1.0.117.7.M.34.6.M.0.0.0000*7F \$GPGSA,A,3,04,17,24,08,06,10,29,13,,,,,1.8,1.0,1.5*3C \$GPGSV,3,1,10,24,78,045,42,10,53,302,42,17,50,321,42,04,45,116,41*77 \$GPGSV.3,2,10,29,32,213,40,27,27,085,.08,24,120,37,13,22,041,39*7E \$GPGSV,3,3,10,26,16,213,30,06,13,316,37*7C \$GPRMC,021803.751,A,3501.5666,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*07 \$GPVTG212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA,021804.751,3501.5665,N,13546.9457,E,1,08,1.0,118.5,M,34.6,M,0.0,0000*76 \$GPRMC,021804.751,A,3501.5665,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*03 \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA,021805.751,3501.5664,N,13546.9457,E,1,08,1.0,119.3,M,34.6,M,0.0,0000*71 \$GPRMC,021805.751,A,3501.5664,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*03 \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA.021806.751.3501.5664.N.13546.9457.E.1.08.1.0.120.2.M.34.6.M.0.0,0000*79 \$GPRMC,021806.751,A,3501.5664,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*00 \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA,021807.751,3501.5662,N,13546.9457,E,1,08,1.0,121.2,M.34.6,M.0.0,0000*7F \$GPRMC,021807.751,A,3501.5662,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*07 \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA,021808.751,3501.5661,N,13546.9457,E,1,08,1.0,122.2,M,34.6,M,0.0,0000*70 \$GPGSA,A,3,04,17,24,08,06,10,29,13,...,1.8,1.0,1.5*3C \$GPGSV,3,1,10,24,78,045,41,10,53,302,42,17,50,321,42,04,45,116,41*74 \$GPGSV.3.2.10.29.32.213.41.27.27.085.,08.24.120.37.13.22.041.39*7F \$GPGSV,3,3,10,26,16,213,29,06,13,316,38*7B \$GPRMC,021808.751,A,3501.5661,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*0B \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA,021809.751,3501.5660,N,13546.9457,E,1,08,1.0,123.1,M,34.6,M,0.0,0000*72 \$GPRMC,021809.751,A,3501.5660,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*0B \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA,021810.751,3501.5658,N,13546.9457,E,1,08,1.0,124.0,M,34.6,M,0.0,0000*77 \$GPRMC,021810.751,A,3501.5658,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*08 \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63 \$GPGGA,021811.751,3501.5656,N,13546.9457,E,1,08,1.0,124.8,M,34.6,M,0.0,0000*70 \$GPRMC,021811.751,A,3501.5656,N,13546.9457,E,0.00,212.31,110604,,*07 \$GPVTG,212.31,T,,M,0.00,N,0.0,K*63

図 8-1 GPS サンプルデータ

7.45. 言語データファイル

GT-Map ユーザフォルダのロケーション (表 3-2) の resource フォルダの下に ISO3166-1 に規定さ れている国コード (2文字)のフォルダごとに言語ファイルを配置します。

頁番	ファイル名	機能
1	hgis¥timemap¥gui¥MainMenu.xml	メインメニュー
2	hgis¥timemap¥gui¥CommonUI.xml	共通 UI
3	hgis¥timemap¥gui¥ProjectViewPanel.xml	プロジェクトビュー
4	hgis¥timemap¥gui¥preference¥BasicConfigPreferencePanel.xml	
5	hgis¥timemap¥gui¥StatusBarPanel.xml	ステータスバー
6	hgis¥timemap¥gui¥popup¥MultiSelectionPopupMenu.xml	データビュー
		ポップアップメニュー
7	hgis¥timemap¥gui¥popup¥LayerPopupMenu.xml	プロジェクトビュー
		ポップアップメニュー
8	hgis¥timemap¥gui¥popup¥CanvasMeasurePopupMenu.xml	計測
		ポップアップメニュー
9	hgis¥timemap¥gui¥ToolBarPanelFactory.xml	ツールバーパネル
10	$hg is {\tt } time map {\tt } g u i {\tt } d ia log {\tt } operation {\tt } {\tt } Layer Operation {\tt } Buffer Dialog {\tt } Factory. xm {\tt } and {\tt } $	レイヤ間演算
	1	buffer ダイアログ
11	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥operation¥LayerDisolveDialog.xml	レイヤ間演算
		Disolve ダイアログ
12	$hg is {\tt } time map {\tt } g u i {\tt } d ialog {\tt } operation {\tt } {\tt } Layer Operation Dialog {\tt } Factory.xml \\$	レイヤ間演算
		共通ダイアログ
13	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥ProgressDialog.xml	プログレスバーダイアログ
14	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥PrintMapDialog.xml	印刷ダイアログ
15	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥ChoroplethEditDialog.xml	コロプレス編集ダイアログ
16	$hg is {\tt xtimemap} {\tt ytimemap} {\tt ytimemap} {\tt ytimemap} {\tt ytimemap} {\tt ytimemap} {\tt xtimemap} {\tt ytimemap} {\tt ytimema$	レイヤファイルプロパティ
		ダイアログ
17	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥ProjectPropertyEditDialog.xml	プロジェクトプロパティ編
		集ダイアログ
18	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥PreferenceDialog.xml	機能設定ダイアログ
19	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥ColorChooserDialog.xml	色選択ダイアログ
20	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥AnnotationDialog.xml	アノテーションダイアログ

表 8-8 言語ファイル一覧

21	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥LayerFilterDialog.xml	簡易検索ダイアログ
22	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥AnnotationListDialog.xml	アノテーションリストダイ
		アログ
23	$hg is {\tt }t imemap {\tt }t g u i {\tt }t d i a log {\tt }L a y er Property Ed it Dia log .xm log {\tt }t d i a log {$	レイヤプロパティ編集ダイ
		アログ
24	$hgis {\tt } {\tt $	レイヤ属性表示ダイアログ
25	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥LayerExportDialog.xml	レイヤエクスポートダイア
		ログ
26	$hg is {\tt $	タイムラインプレイヤ
		ダイアログ
27	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥VersionDialog.xml	バージョンダイアログ
28	$hg is {\tt $	計測ダイアログ
29	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥measure¥AreaMeasureDialog.xml	面積計測ダイアログ
30	$hg is {\tt $	距離計測ダイアログ
31	$hg is {\tt $	重心計測ダイアログ
32	$hg is {\tt \times} timemap {\tt \times} gui {\tt \times} dialog {\tt \times} Layer {\tt \times} time times dialog {\tt \times} xml$	レイヤ属性クエリー
		ダイアログ
33	hgis¥timemap¥gui¥dialog¥HuMapProjectDialog.xml	プロジェクトダイアログ
34	$hg is {\tt }t imemap {\tt }t g u i {\tt }t ialog {\tt }F ile {\tt }S ave {\tt Confirm }Dialog. xml$	ファイルセーブ確認
		ダイアログ
35	hgis¥timemap¥tools¥GPSTrackingDialog.xml	GPS トラッキングダイアロ
		グ
36	hgis¥timemap¥tools¥DegDMSConverter.xml	緯度経度変換ダイアログ
37	hgis¥timemap¥tools¥HuEditor.xml	GT-Editor
38	hgis¥timemap¥viewer¥HuMap.xml	GT-Map

表 9-1 用語集

項番	項目	解記
1	レイヤ	プロジェクトビューに表示される一枚ごとの地図や写真な
		どをレイヤと呼びます。レイヤには下位階層がありません。
2	プロジェクト	0個以上のレイヤあるいはプロジェクトのまとまりをプロジ
		ェクトと呼びます。プロジェクトには下位階層があります。
3	データノード	プロジェクトビューにおいて、プロジェクトかレイヤのどち
		らかを示します。
4	フィーチャ	地球空間に生起する現象の抽象概念(道路、家屋、河川、台
		風、雲など)を表す。
5	アクティブなレイヤ	プロジェクトビューで選択されたレイヤを表す。
6	アクティブなプロジェ	プロジェクトビューで選択されたプロジェクトを表す。
	クト	
7	コロプレス地図	分析対象となる統計変数の比率に応じて色分けされる主題
		地図です。
8	ラスターレイヤ	航空写真などの JPEG 画像フォーマットをもつレイヤ
9	ベクターレイヤ	点や線の位置情報をもつレイヤ
10	属性情報	フィーチャに対応するテキストや数値情報